

1 令和 6 年度事業計画重点項目に関する総括

本会は、事業計画に掲げた基本方針を踏まえて、地域福祉の推進役としての役割を果たすべく、宗像市をはじめ地域及び各関係機関・団体との連携・協働のもと、様々な福祉事業に取り組みました。

基本方針に掲げた重点項目の実施状況は、以下のとおりです。

(1) 第 4 次地域福祉活動計画に基づく本会経営・事業の実施（計画年度：H27～R6 年度）

- 最終年度となった本計画について、市保健福祉計画(地域福祉計画を含む)との整合性を図り、行政と連携し各種事業に取り組むとともに、「地域共生社会の実現」に向け、今後社協が果たすべき役割やビジョンの明確化を進めます。
- 今年度、本会の今後5年間(計画年度：R7～R11 年度)の基本方針に関わる「第5次地域福祉活動計画」(以下「第5次計画」という。)を策定します。
- 「第5次計画」についても、今後の地域社会において複雑化・複合化した支援ニーズに対応すべく中核的な団体として適切に機能が発揮できるよう、内部プロジェクトを設置し策定いたします。

【実施状況】

- 令和 6 年度も引き続き、第 4 次地域福祉活動計画に基づき、子ども・高齢者・障がい者など全ての人が自分の住み慣れた地域で豊かさを実感できる『地域共生社会の実現』に向けた地域福祉事業の取り組みを進めました。
- また、本会の令和 7 年度から令和 11 年度までの基本方針に関わる「第 5 次地域福祉活動計画」を、コミュニティ運営協議会会長代表者、地域福祉関係団体代表者、市民公募者、識見者（大学教授）、市関係部署担当係長などで構成する本計画策定委員会を設置し、様々な視点での意見の反映に努め、各事業を担う課長、係長を中心としたプロジェクトメンバーにより策定しました。

(2) 福祉教育の推進

- 地域福祉を推進する基本的な取り組みとして、小・中学校などの福祉教育推進校で実施する福祉教育にとどまらず、あらゆる事業場面を福祉教育の機会として捉え、「地域共生社会の実現」に向けた基盤づくりを進めます。

【実施状況】

- 令和 6 年度も、福祉教育推進校（園）において、様々な福祉教育に取り組んでいただきました。
- 小学校では、福祉ボランティア団体や障がいのある方、シニアクラブや福祉会など地域住民の協力も得ながら、手話体験、アイマスク・ガイド体験、車いす体験、点字体験、視覚障がい者との交流などの学習を実施しました。
- また、中学校では、介護保険制度や認知症についての学習、高校においては、認知症サポーター養成講座を開催し、福祉教育の推進を図りました。

(3) 社会福祉法人による公益的な取り組みの推進

- 社会福祉法人が連携・協働し、地域のニーズや福祉課題を受け止め、公益的な活動に取り組むことで、安心して暮らせる地域づくりに貢献することが求められています。これからも、宗像市社会福祉法人連絡会の事務局として、連絡会で実施する学習会・研修会をはじめ様々な活動支援に努めます。

【実施状況】

- 令和 6 年度は、役員会を 9 回、総会・学習会（1 回）及び全体会議兼実務担当者会議（1 回）を開催し、情報共有と意見交換を行いました。
- また、人材確保の視点と社会福祉分野の仕事や制度内容等の周知・案内を図ることを目的とした「第 1 回むなかた福祉就職フェア」（後援：宗像市、ハローワーク福岡東）を開催いたしました。

（４）地域の福祉課題を解決するための事業の拡充

- 令和 6 年度を初年度とする「第 9 期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（以下、第 9 期介護保険事業計画という。計画年度：R7～R9 年度）」に沿って、これからも「地域包括ケアシステム」の推進を図っていきます。その柱の一つである生活支援体制整備事業（市委託事業）は、社協が従来から住民主体を基本としてきた地域福祉活動の推進及び地域における「つながり」をさらに拡げ、住民相互の支え合いの地域づくりを進めます。第 1 層（市）と第 2 層（社協）の地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が相互に連携をとりながら、地域資源の開発とネットワーク化等に取り組み、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備を推進します。
また、地域住民と専門職、福祉団体、関連事業所等が一体となって、地域の支え合いによる地域づくりを推進する場「協議体（地域支え合い会議）」の拡充を図っていきます。
- 認知症施策推進事業（市委託事業）では、「認知症施策推進大綱」及び第 9 期介護保険事業計画に基づき、チームオレンジコーディネーターを中心に認知症地域支援推進員及び市、関係機関と連携を図り、オレンジ（認知症）カフェ、認知症サポーターの養成事業をはじめ、認知症地域支援・ケア向上事業、サポーター活動促進・地域づくり事業など、認知症にやさしいまちづくり（チームオレンジ）に向けた取り組みの充実を図っていきます。
- 市が令和 6 年度から新たに着手していく重層的支援体制整備事業は、事業内容の分析・整理を行い、市の役割、本会が担えるべき役割（市委託）を明確にしてそれぞれ連携を図った取り組みを進めていきます。

【実施状況】

- 地域包括ケアシステム主要事業の生活支援体制整備事業（市委託）について、第 2 層地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を全ての日常生活圏域（6 圏域）に各 1 名を配置し、第 1 層地域支え合い推進員（市）と連携しながら事業を推進しました。地域支え合い会議「協議体」の開催においては、地域住民をはじめ事業所や施設、病院、商店、学校など地域に関わる関係者が集まり、地域の通いの場や生活支援について、また地域の課題やその課題解決に向けた話し合いを行いまいした。また、コミュニティ単位と並行して、一部地域では地域の実情を活かした形で、町内会・自治会単位、小学校単位で開催しました。そのほか、地域で主体的に取り組まれている多様な活動等取材し、地域資源カードとして作成したものを紹介するなど地域資源（地域のお宝）啓発に努めました。
- 認知症施策推進事業（市委託）では、令和 6 年度からチームオレンジコーディネーター（社協・認知症地域支援推進員）を 2 名に増員配置し、基幹型及び各圏域の地域包括支援センターの認知症地域支援推進員と連携を図り、事業を推進しました。認知症サポーターの養成、オレンジカフェの推進と併せて、チームオレンジサポーターの登録及びサポーターミーティングを定期的に開催し、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすための活動に取り組みしました。
また、「本人ミーティング」の取り組みにおいては、これまでの「それでいい」、「まっちゃんのお部屋」、「花さく会」、「囲碁の会」に加え、「王将の会」、「ゆりの会」、「みんなでやろう会」を立ち上げ、毎月定例的に開催し本事業の拡充を図りました。
- 重層的支援体制整備事業（市委託）は、令和 6 年 12 月から正式に市の委託を受け、相談支援コーディネーターを市福祉政策課内に配置し、相談支援機関等から寄せられた複雑・複合化した課題を抱えた人や世帯についてのアセスメントや課題の解消を図る多機関協働事業に取り組みしました。
また、地域福祉の現状及び課題等の情報共有を図るためのコーディネートや事業アイデアの創出に取り組む参加支援事業にも着手しました。

（５）高齢者や障がいのある人への権利擁護事業の充実

- 日常生活自立支援事業（県社協委託）やライフサポート事業（独自事業）及び法人後見事業を実施し、認知症高齢者や障がいのある人の尊厳ある暮らしの実現と自己決定支援を行います。
- 成年後見制度の利用を促進するため、市が運営する中核機関と連携を図りながら、権利擁護体制の充実を図ります。

【実施状況】

- ライフサポート事業、日常生活自立支援事業の利用者は増加傾向から横ばいになりましたが、利用者から求められる相談・支援内容は複雑・多岐になってきています。今年度は、利用者 6

人を成年後見制度に移行しました。利用者を取り巻く様々な環境に対応するため、各法律の専門家や関係機関と連携を図りながら継続した支援を行いました。

- 法人後見事業においては、ライフサポート事業等利用者の判断能力や身体状況等を勘案しながら、新たに1名を当会の法人後見事業で受任し、計4件（保佐2件、補助2件）の後見業務を担っています。また、定例の法人後見運営委員会を開催し、利用者の支援の現状と課題について報告を行いました。
- 利用者の意向や課題等に対し、適切かつ迅速に対応できるよう様々な専門研修に参加するなど職員のスキルアップに努めるとともに、市民生活支援員（臨時職員）を4人から8人に増員し、生活支援コーディネーター（常勤職員）と一緒に支援する体制を強化しました。

（６）障害者生活支援センター事業の充実

- 障がいのある人やその家族を対象に、障がい福祉サービスの利用援助や生活全般に関する相談支援などを行います。支援にあたっては、本人の意思決定を尊重した利用者本位の視点で取り組みます。
- 基幹相談支援センターとして、地域の相談支援事業所が行う「計画相談支援」への助言・指導及び対応困難なケースへの総合的・専門的な支援を行います。
- 市と協働運営をしている宗像市障害者自立支援協議会では、昨年度開始した「長期入院している精神障がい者の地域移行」について、地域の障がい者関連施設や医療機関、社会資源等との連携を図り、安心して地域で生活ができるような体制づくりを進めています。
- 感染症や自然災害時の業務継続計画（BCP）の策定により、センターが人的に機能不全になるときには社会福祉協議会の他部署との連携を図り、また場所や機材的な機能不全に対してはIT化を推進することにより、場所や機材の代替対応ができるような取り組みを進めています。
- 障害者虐待防止センターとして、障がい者虐待の早期発見や迅速な対応を行います。また、障がい者福祉施設等を対象にした研修を実施し、虐待の未然防止に努めます。

【実施状況】

- 主任相談支援専門員の資格取得や障害者差別解消法などの研修を受講し、本人の意思を尊重した利用者支援や将来を見据えた自立につながる相談支援を行いました。
- 基幹相談支援センターとして、中立・公平な相談支援事業を実施するとともに、市における相談支援の中核的な役割を担い、相談支援事業所が行う「計画相談支援」への助言・指導、支援に努めました。また、職員の知識の研鑽・資質の向上を図るために、各種研修等へ積極的に参加しました。
- 関係機関や事業所、地域との連携を図り、地域課題の解決に向けて、市と協働して障害者自立支援協議会の運営に努めました。前年度に引き続き、「医療的ケア児者支援連携会議」や「精神障がい者支援連携会議」に取り組みました。また、「要対協子ども支援連携会議」などにも定例的に参加し、子ども分野の関係機関との連携を図りました。
- 障害者虐待防止センターとして、虐待通報や相談等に迅速かつ適切に対応しました。また、障がい福祉施設等を対象とした虐待防止に関する研修を実施しました。事業所は従業員への研修を定期的に行うことが義務化されたことを受け、各事業所での虐待防止研修会に活用できるよう動画配信による虐待防止研修会を開催しました。

（７）宗像市ボランティアセンター事業の充実

- 昨年度から「むなかたボランティアシステム」（市委託事業）の運用が新たに始まりました。ボランティア活動のさらなる活性化のため、システムの利便性を広く周知するなど、情報発信に努めます。今後も、ボランティア活動の希望や依頼に関する情報を集約し、市内のボランティア資源を活用しながら、様々なボランティア活動の調整業務を行います。
- 地域のニーズに応じた福祉ボランティアの養成と支援、連携と協働による活動を展開していきます。
- 学校などにおける福祉教育では、ボランティアが参加・協力する機会が増えていることから福祉教育活動とボランティア活動との連携・強化に努めます。また、福祉教育の一環として小学生や中学生向けのボランティア講座も実施します。

【実施状況】

- ボランティア活動の更なる活性化を図るため、「むなかたボランティアシステム（MVS）」

について、利便性などを広く周知するとともに、宗像市ボランティアセンターInstagram、公式LINEを活用し、各事業や催しのボランティア募集などの情報発信を行いました。子どもから高齢者まで幅広い年齢層にわたるボランティア活動の希望や依頼に関する情報を集約し、様々なボランティア活動の調整に努めました。

- ボランティア活動を始めたい人、関心のある人などを対象とした「ボランティア入門講座」を開催し、ボランティア活動だけでなく、市民活動、コミュニティ活動についても学んでもらう機会としました。

また、小学校高学年を対象とした「ジュニアボランティアスクール」は、障がい者・高齢者・認知症について考え、理解を深めながら一緒に楽しめる「オレンジカフェ」を開催するなど、福祉教育についての推進を図りました。

（８）宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営改善と利用者へのサービスの充実

- 宗像市の方針に基づき、児童福祉法に規定される「児童発達支援センター」に事業所の指定変更を行い、宗像市との一体的な連携を保ちながら、のぞみ園が大切にしている利用者及び保護者との信頼関係に基づく児童発達支援センター事業を展開します。
- 令和５年度から開始した保育所等訪問支援事業を児童発達支援センター事業の中でさらに拡大・充実させ、保育所や幼稚園等との連携を深めることによって、地域的な広がりをもった児童発達支援センター事業を目指します。
- 児童発達支援センターとして利用者の特性に応じた個別指導やグループ指導の充実、ニーズの高い言語療育を担う専門職配置の拡充等に努めます。また指定変更にとめない業務全般の見直しと改善を進め、効果的な児童発達支援センター事業と効率的な業務運営を目指します。さらに、今後の事業展開や法令遵守に必要な研修、業務運営管理システムの向上等も併せて実施します。
- 障害児相談支援業務については、児童発達支援センター事業の中で多くの利用者のニーズを確実に捉え、的確なサービス等利用計画が立てられるよう相談員のスキルアップを図るとともに、事業所内連携の強化、法令遵守、地域資源や福祉制度の把握と有効活用、他事業所や関係機関との積極的な連携・情報交換等を実施します。

【実施状況】

- 宗像市の方針に基づき、令和６年６月に児童福祉法に規定される「児童発達支援センター」に変更指定され、地域における就学前児童に向けた発達支援の中核的な役割・機能を目指していくこととなりました。
児童発達支援センターの基本的な機能として、①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援、②地域の障害児通所支援事業所等との相互の助言・援助、③地域のインクルージョンの推進、④地域における発達相談の入り口などが掲げられているため、スタッフの研修事業の拡充をはじめ、関係事業所・機関等との連携体制づくりなどセンターとしての取り組みを始めました。
- センターとして幅広い専門性の高い発達支援・家族支援を提供するため、言語聴覚士等の専門職の配置拡充をはじめ、児童発達支援管理責任者、強度行動障がい支援者、精神障がい者支援者等の養成講座の受講、先進的なセンターの視察研修、地域内の関係事業所や保育所・幼稚園等との合同勉強会の開催、その他各種支援者研修会等に積極的に参加しました。
- 地域で取り組む発達支援を推進するため、令和５年度から開始した保育所等訪問支援事業の拡充を目指し、「のぞみ園」と保育所・幼稚園による利用児に対する支援内容及び支援方法等の共有に努めました。訪問先の園からは、この取り組みに対して高評価をいただいています。
- 「のぞみ園」とともに一体的に宗像市から業務委託を受けている障害児相談支援事業所「のぞみ」については、地域の事業所との日常的な連携関係を生かしながら、利用者のニーズを的確にサービス等利用計画に反映し、最適なサービスの提供を支えました。

（９）高齢者や障がい者への介護サービス事業経営の安定化と利用者へのサービスの充実

- 介護保険法等の改正や介護報酬改定後も各事業所経営が維持できるよう具体的な業務の見直しや改善を継続して行います。
- 「ホームヘルパーステーション経営改善計画」と「居宅介護支援センター経営改善計画」の見直しを行い必要に応じて事業改善を適宜実施します。

【実施状況】

- 訪問介護事業においては、令和6年度介護報酬等改定により介護報酬が減算になったこと、また燃料代や各種消耗品等の調達費用の高騰、人件費の増加等により、訪問介護事業の経営は厳しい局面を迎えています。また、介護報酬等改定に付随する減算や法令遵守事項により、事業経営に係る事務量も増加したため、総務部門と連携を図りながら、適正な事業経営に努めました。
- 介護報酬等改定による影響はありましたが、事業計画書や経営改善計画に基づき、円滑かつ適正な事業運営を行いました。また、福岡県による「居宅介護・同行援護」事業の運営（実地）指導に基づく改善や業務継続計画の見直し作業に取り組み、必要に応じた備蓄品の確保や業務継続計画に基づく職員訓練として救命救急講習を再開するなど、関係法令等を遵守した適切な運営に努めました。

2 法人運営に関する事業

(1) 本会の運営に関する事業

■理事会の開催【3回開催 20議案】

開催時期・会場	議案番号	議 案
第1回 ■令和6年 6月12日 ■メイトム宗像 203会議室	第1号	評議員候補者の推薦について
	第2号	職員就業規則の一部改正について
	第3号	職員の再雇用に関する規程の制定について
	第4号	職員給与規程の一部改正について
	第5号	スマイルハート事業運営規程の一部改正について
	第6号	法人指導監査指摘事項の是正改善策について
	第7号	固定資産の売却について
	第8号	令和5年度事業報告について
	第9号	令和5年度決算報告並びに監査報告について
	第10号	令和6年度第3回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について
第2回 ■令和6年 11月29日 ■書面決議	第11号	ライフサポート事業運営規程の一部改正について
第3回 ■令和7年 3月12日 ■メイトム宗像 202会議室	第12号	定款の一部変更について
	第13号	定款施行細則の一部改正について
	第14号	経理規程の一部改正について
	第15号	職員給与規程の一部改正について
	第16号	旅費規程の一部改正について
	第17号	臨時職員の賃金に関する規程の一部改正について
	第18号	令和7年度事業計画(案)について
	第19号	令和7年度予算(案)について
	第20号	令和7年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について

■評議員会の開催【3回開催 8議案】

開催時期・会場	議案番号	議 案
第1回 ■令和6年 4月24日 ■書面決議	第1号	理事の選任について
第2回 ■令和6年 6月21日 ■メイトム宗像 202会議室	第2号	理事の選任について
	第3号	令和5年度事業報告について
	第4号	令和5年度決算報告並びに監査報告について
第3回 ■令和7年 3月27日 ■メイトム宗像 202会議室	第5号	定款の一部変更について
	第6号	定款施行細則の一部改正について
	第7号	令和7年度事業計画(案)について
	第8号	令和7年度予算(案)について

(2) 経営戦略会議の開催

- 事業説明：本会の運営に関する諸事項について、基本的な方針を検討・決定する会議。
- 出席者：会長、常務理事、事務局長、総務福祉課長、居宅介護課長、のぞみ園長
- 開催時期：原則として毎月最終水曜日

(3) 計画的な職員研修の開催

- 事業説明：社会福祉の現場で働く職員として必要な安全運転や人権等の研修を実施。

実施事業	実施時期	主な活動内容
安全運転管理者講習会	■6月20日 宗像ユリックス	対象者：居宅介護課長、総務福祉課長 出席者数：2人 内容：道路交通法に定められた安全運転管理者の講習会。
職員人権研修会	■2月21日 ■メイトム宗像 202 会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。 出席者数：40人 演題：『カスハラがない組織づくりのために』 講師：アンフィニ社会保険労務士法人 特定社会保険労務士 中島一平氏

(4) 定例監査の実施

- 事業説明：法人の適切な経営を行うため、年3回定期的に監事による会計等の監査を実施。決算監査の結果については、年度の第1回理事会・評議員会にて報告。

(5) 労働安全衛生委員会の実施

- 事業説明：本会の労働安全衛生や労働環境に関する諸事項について、基本的な方針を検討・決定する会議。
- 委員：事務局長、総務福祉課長、居宅介護課長、衛生管理者、各部署代表等
- 開催時期：偶数月の第2木曜日

(6) 宗像市社会福祉法人連絡会の運営支援

- 事業説明：宗像市内に事業所のある25の社会福祉法人で構成する「宗像市社会福祉法人連絡会」が、平成30年11月に発足。現在、29法人のうち28法人で構成。本会は事務局として、役員会・全体会議兼実務者会議等の運営を行った。

■会議等

役員会	4/3, 5/8, 6/5, 7/3, 8/7, 10/16, 11/6, 2/12, 3/13
総会・学習会 (オンライン・集合形式 併用)	4/25 18法人参加 学習会：『カスタマーハラスメントに関する情報交換会』（グループワーク）
全体会議兼実務者会議	9/11 18人参加 学習会：『ストレスとの付き合い方』（講師：福岡教育大学教授 貫名英之氏）
福祉就職フェア	1/18 10:00～14:00、10法人参加、メイトム宗像 ・就職面談ブース ・介護・福祉に関する相談ブース ・ハローワーク就職相談ブース ・食品販売 ・介護機器展示 ※開催に向けた実行委員会を2回行った（11/13、12/4）

3 “ともにいきるまち宗像” 推進事業の充実

(1) 生活支援体制整備事業（市委託事業）

■事業説明

平成31年4月に宗像市より事業の委託を受け、市内全域を圏域とする第1層、中学校区を圏域とする第2層を受託。令和2年度からは第2層を受託し、6圏域に地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を配置。また、コミュニティ単位を核とする「協議体」の運営や既存の活動、地域資源等の把握を行い、新たな活動の創出に向けた取り組み等を行うもの。

■事業内容：

第2層（圏域/中学校区/6圏域）

■職員体制：第2層地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）6人

■業務内容：

(1) 協議体の設置・運営

- ・コミュニティごとに12の協議体を設置し、各地域の実情や課題に応じたテーマをもとに話し合いの場（協議体）を設けた。
- ・協議体（話し合いの場）には、地域の住民をはじめ、コミュニティ、事業所、商店、施設、学校等の関係者が参加した。

地区	協議体の名称	開催日	話し合いのテーマ（抜粋）
吉武	よしたけふくしの郷づくり	【地区】1/14、2/4 【安ノ倉】2/26 【高六】3/14	【地区】通いの場の効果と必要性 【安ノ倉】公民館で通いの場・居場所づくりについて話しましょう 【高六】生の声を聴き、通いの場の理解を深める
赤間	いいとこ発見	【地区】11/28、2/13 【三郎丸団地】7/23、11/12	【地区】通いの場でのつながりを紹介しあおう！！ 【三郎丸団地】気軽に楽しい、自由な居場所づくりについて
赤間西	あかにこの輪	【地区】12/10、2/21 【赤間ヶ丘2区】4/28、6/19	【地区】通いの場の知恵袋 【赤間ヶ丘2区】高齢者が住みよい地域にするための取り組みや活動・居場所について
自由ヶ丘	おかりん家族	【地区】6/5、9/4、11/6、2/12	・支え合い・助け合いについて考えよう！ ・支え合い・助け合いについて考えよう！part2 ・地域の支え合い・助け合いについてできることからはじめよう！ ・地域の支え合い・助け合いについて区会ごとにわかれて話し合い発表しよう！
河東	かとうの星	【地区】7/30、9/26、11/29、2/28	・通いの場のアイデアを形にしよう ・いつまでもつながれる地域であるために ・地域内にある事業所の活動を知って地域でつながろう
南郷	南 GO!このみ隊	【地区】7/12、1/30 【紫雲台】9/11 【大穂】1/14	・通いの場について情報交換しよう ・南郷の取り組みを共有しよう ・これからも地域でいきいきと暮らすには ・これからの活動について話そう
東郷	やよい東郷	【地区】5/22、8/28、11/27、2/26	・これからの「やよい東郷」について話しましょう ・東郷地区の通いの場について話しましょう ・通いの場の情報を共有しよう ・地域でのつながりについて話しましょう
日の里	いきいき日の里	【地区（西小校区）】4/23、4/30 【6丁目】10/4 【アパート3区】12/6、2/21	【地区（西小校区）】日の里中学校お試し通いの場の企画会議 【6丁目】これからの6丁目について 【アパート3区】アパート3区のこれからについて、住民、関係機関とともにつながり、考えていこう！・「あったらいいな」・「やってみたいな」について教えてください！

玄海	玄海しゃべり Bar	【地区】4/23、6/5、10/22、11/29、2/14	・改めて地域の魅力について語りましょう② ・改めて地域の魅力について語りましょう③ ・改めて地域の魅力について語りましょう④ ・地域のサロンのミニ講座を企画しよう！ ・これからの協議体の方向性について
池野	池野わくわく茶屋	【地区】6/27、9/26、11/15、1/30	・通いの場から聞こえる声を聞いてみよう！ ・通いの場のこれからについて考えよう！ ・通いの場について情報交換しよう！ ・通いの場について情報交換しよう！
岬	鐘崎ノーサ BAR	【地区】12/7、2/27 【平原】1/20 【京泊東】2/18	【地区】将来の備え「介護予防」について知ろう！ やっている活動を地図に現してみよう！ 【平原】平原地域について語り合しましょう！ 【京泊東】京泊東について語り合しましょう！
大島	しまみん	【地区】4/25、7/17、11/14、2/20	・島内の情報共有と今後の展開

(2) 地域資源の把握と創出

- ・「地域のお宝探してます」パンフレット等を活用し、住民等から地域資源の情報収集を行うとともに、直接地域の取材に行き地域資源の把握を行った。また、把握した地域資源をまとめ、地域包括支援センター等へ情報提供を行った。

(3) 地域ケア会議への参加

- ・各地域包括支援センターにおける地域ケア会議に出席し、地域資源などの情報提供を行った。

(4) 宗像市との連携

- ・委託元の宗像市（高齢者支援課）と連携し、圏域別連携会議、連絡調整会議及び宗像市との定例会議を開催し情報共有を行った。

（２）重層的支援体制整備事業（市委託事業）

■事業説明

令和 6 年 12 月に宗像市より事業の委託を受け、宗像市の福祉政策課内に相談支援コーディネーターを配置。単独の窓口では解決が困難な複雑化・複合化した課題を抱えた対象者及び世帯について課題解決に向けた体制を構築し、円滑な支援を行うことを目的として実施するもの。

■事業内容：

■職員体制：相談支援コーディネーター1 人

■業務内容：

(1) 多機関協働事業

- ・各相談支援機関等から寄せられた複雑化・複合化した課題を抱えた対象者及び世帯の事例を受け付け、事前にアセスメントを行い、課題の整理を行った。

(2) 支援調整会議（※1）の開催

- ・事前準備として、相談記録票の作成や課題の整理・確認を行った。また、当日はケース検討に係る司会進行等を行い、会議後は会議録の作成を行った。

(3) 参加支援事業

- ・地域福祉の現状及び課題等に関する情報共有の会議や地区担当職員等との情報共有の会議を委託元の福祉政策課保健福祉政策と行い、必要に応じて議事録の作成などを行った。適宜、支援調整会議へ総務係長・地域福祉係長が出席した。

	項目	総計	内容・備考
1	新規相談受付件数	3	ケース番号 009・010・011
2	支援調整会議にて情報共有されたケース	8	ケース番号 007・008・009・010・011
3	支援調整会議開催日数	4	12/26、1/23、2/27、3/27

4	ケース対応	41	
内訳	打ち合わせ・ケース会議 (関係者主催)	19	健康課・子ども家庭センター・生活支援課・税務課・収納課・県社協(貸付)・環境課・市民課
	訪問	5	本人、家族との面談など
	電話	17	本人・健康課・子ども家庭センター・県社協(貸付/償還)・収納課・環境課・民生委員
5	事務局内協議(※2)	14	ケース会議、事前打ち合わせなど
6	その他	12	社協と保健福祉政策係との打ち合わせ(※3)

※1…多機関協働事業にて受け付けされたケースについて、情報共有や支援の在り方・方向性を検討する会議。

※2…委託元の福祉政策課保健福祉政策係と相談支援コーディネーターとの打ち合わせ

※3…社協(相談支援コーディネーターと総務係長、地域福祉係長、または地区担当指導員)と委託元の福祉政策課保健福祉政策係の打ち合わせ

(3) 福祉会組織化・育成事業

①福祉会組織化・育成事業

■福祉会とは

福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で(＝参画・協働)誰もが生活しやすいように(＝共生社会)活動を行う(＝福祉力を高める)住民の自主的な組織であり、自治会単位(小地域)の福祉会を「小地域福祉会」、13 地区コミュニティ単位の福祉会を「地区福祉会」と称している。

■福祉会組織化の経緯

福祉会は、宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書(昭和 61 年 1 月策定)にて、“活動のための組織体制強化策”として始めた事業。昭和 62 年に「小地域福祉会組織化事業」が開始され、昭和 63 年 4 月に自由ヶ丘地区に本市で最初の福祉会「自由ヶ丘地区社会福祉会(現：自由ヶ丘地区福祉会)」が発足した。その後、各地域で福祉会が組織化された。平成 10 年 7 月 10 日に赤間西地区福祉会が発足し、旧宗像市においては市内 8 地区全域に福祉会が組織化された。平成 15 年 4 月 1 日に玄海町と宗像市が合併、これに伴い両社会福祉協議会も平成 15 年 3 月 31 日に合併、新たな福祉会の組織化が平成 15 年度に再開した。平成 15 年 9 月 21 日に神湊地区福祉会が発会、平成 16 年 1 月 25 日の田島地区福祉会の発会をもって、旧玄海町 4 地区(市内 12 地区)全域に地区福祉会が組織化された。平成 17 年 3 月 31 日には、本会が大島村社会福祉協議会と合併したのを機に、大島村福祉会(現：大島地区福祉会)が宗像市 13 番目の地区福祉会となった。

■各福祉会の取り組み

※【 】は地区福祉会

地 区	福祉会名	主な活動内容
吉武地区	【吉武地区福祉会】	見守りネットワーク活動「孝行ネットボトル」利用推進、介護予防いきいき交流会「よしただけ広場」(5 回)、バスハイク、よしただけ福祉の郷づくりサロン協力、福祉教育(吉武小)への協力、世代間交流
赤間地区	【赤間地区福祉会】	役員会 8 回、定例会(8回)、包括研修、いいところ発見発表会
	赤間区福祉会	福祉会花壇作業(11回)、介護予防いきいき交流会事業(11回)、敬老祝賀記念品配付
	石丸区福祉会	介護予防いきいき交流会(2回)、世代間交流事業さつまいも収穫祭、どんど焼き、役員会(10回)
	徳重区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(5回：バスハイク、グラウンドゴルフ、ニュースポーツ等)、道路クリーン活動、世代間交流事業(どんど焼き)、70歳以上世帯お餅配布。
	田久区福祉会	介護予防いきいき交流会(5回)、おしゃべり会(4回)
	陵厳寺区福祉会	陵厳寺いきいきサロン(フリーサロンとして9回：ウォーキング、茶話)

		会、ゲーム等)、広報誌「きぬがさ」発行(年6回)
	三郎丸団地区福祉会	介護予防いきいき交流会(4回)、いきいき交流会(2回) 高齢者への心配り活動(団地内)、敬老祝賀会(9/16)、花の苗植栽(11/13～11/21)
	広陵台1丁目福祉会	介護予防いきいき交流会(32回)、ラジオ体操、子ども登校見守り事業、元気アップ運動教室、道路クリーン事業、
	葉山区福祉会	活動休止中
	名残区福祉会	介護予防いきいき交流会(1回)
	富地原区福祉会	介護予防いきいき交流会(1回) 環境保全活動(清掃)(愛宕神社4回、県道6回)
赤間西地区	【赤間西地区福祉会】	見守りネットワーク活動の推進、各地域に合った通いの場・居場所づくりの推進及び活動地域の充実化、シルバー農園支援、地域ボランティア事業の継続とボランティア活動の推進、ステップアップ研修、「きらめき赤間西」に広報掲載、サロン調整会議(福祉会長会)
	土穴区福祉会	高齢者訪問活動(1回/月)、訪問活動報告会(奇数月)、玄米ニギニギ体操(月/2回)、乙女の会(9回/年)、介護予防いきいき交流会事業(9回/年)
	城ヶ谷区福祉会	見守り声かけ助け合い活動、介護予防いきいき交流会事業(6回/年)、朝のラジオ体操、城ヶ谷見守りネットワーク、包丁研ぎ、小学校登下校防犯パトロール
	赤間ヶ丘1区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(6回:七夕祭り、敬老祝賀会、防災講話、マジックショー、健康レクササイズ)、福祉会理事会、公民館開放(2回/月)
	赤間ヶ丘2区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(バスハイク、七夕まつり、朗 GO!!のすすめ、防災教室、健康チェック)、子ども見守り声かけあいさつ運動、刃物研ぎ:年2回
	三郎丸福祉会	介護予防いきいき交流会事業(6回:お宮・お堂を守る会、ニギニギ体操、三郎丸バンドなど:6回)、刃物研ぎ(3回/年)、子どもたちとの触れ合い活動、登校時の声かけ(2回/月:66人)、下校時見守り(随時/90人)
	城山区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(10回)、下校時子ども見守り活動、登校時見守り活動、刃物研ぎ(4回/年、延べ57本)
	大谷区福祉会	介護予防いきいき交流会事業介護予防いきいき交流会事業(5回:ミュージックケア、ニュースポーツ、健康レクササイズ、健康チェック)、自治会・福祉会役員会、お楽しみ会、縁側カフェ
	泉ヶ丘1丁目福祉会	介護予防いきいき交流会(6回:ケアビクス、ニュースポーツ、敬老祝賀会、口腔ケア、演奏会等)、敬老祝賀会記念品贈呈
	泉ヶ丘2丁目福祉会	介護予防いきいき交流会事業(3回)、どんど焼き、敬老祝賀行事、にこにこカフェの開催(6回)、福祉ボランティアの会活動、福祉ボランティアの会世話人会議、広報活動、「にこにこ朝市」
	アーサー赤間駅前福祉会	七夕飾り、敬老祝賀訪問記念品贈呈
	アンビール赤間駅前福祉会	七夕祭り(7月)、敬老祝賀会(9月)、クリスマスツリー飾り(12月)
自由ヶ丘地区	【自由ヶ丘地区福祉会】	福祉委員による見守りネットワーク活動(65歳以上独居者・80歳以上の高齢者・その他対象者)、介護予防いきいき交流会事業(9ヶ所/4回)、小地域福祉会の組織化の推進、見守り活動用配布紙「お元気ですか」や地区福祉だより「ほほえみあいの内容の充実、福祉情報連絡会の開催(区会単位で年6～12回開催)、コミュニティ関係団体との連携強化
河東地区	【河東地区福祉会】	情報交流会、役員会、先進地研修、3地区福祉会交流会、出前講

		座
	須恵区福祉会	見守り訪問活動、3者ミーティング(民生委員・福祉会・あじさいの会)
	福崎区福祉会	※新型コロナウイルス感染予防のため未実施
	ひかりヶ丘福祉会	フリーサロン、シニアテニス、介護予防いきいき交流会事業(4回)、午後のお茶会、見守り訪問活動、生活支援隊活動、声かけ安全パトロール、世代間交流事業、福祉だよりの発行
	城西ヶ丘福祉会	お散歩体操、いこいサロン、介護予防いきいき交流会事業(4回)、城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛への協力、ボランティア研修
	天平台区福祉会	ふれあいカフェ(8回)、介護予防いきいき交流会事業(8回)、福祉だよりの発行
	樟陽台区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(5回)、環境美化事業、おしゃべりサロン
南郷地区	【南郷地区福祉会】	役員会、福祉協力員研修、七夕まつり、ふれあい福祉講座、バスハイク、福祉講演会、わくわく交流会、介護予防いきいき交流会事業(10か所/70回)
東郷地区	【東郷地区福祉会】	役員会、福祉委員研修及び会議、民生委員児童委員との意見交換会、介護予防いきいき交流会事業(10か所/51回)
日の里地区	【日の里地区福祉会】	ネットワーク推進会議、主任福祉員会議、おもちゃ病院、シルバー農園、介護予防いきいき交流会事業(9か所/44回)、「向こう三軒両隣りネット(ご近所ネット)」の周知・推進、各町内会福祉会による活動、福祉員の集い、日の里学園福祉教育への協力
神湊地区	【神湊地区福祉会】	花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(2か所、計16回)
池野地区	【池野地区福祉会】	介護予防いきいき交流会事業(7回)、居場所づくり「わくわく茶屋」6か所)、テニピン
岬地区	【岬地区福祉会】	いきいきふれあいサロン(2回)、いきいきラジオ体操(年2回)、健康福祉協力員研修、運営委員会、視察研修、福祉講演会
田島地区	【田島地区福祉会】	70歳以上一人暮らし見守り訪問活動、地域助成事業、介護予防いきいき交流会事業(3か所 計15回)
大島地区	【大島地区福祉会】	各区おしゃべり会

②地域ネットワーク活動の充実（各福祉会の取り組み参照）

- 事業説明：小地域（見守り）ネットワーク活動とは、民生委員児童委員、福祉会の福祉委員・福祉員・福祉協力員等の地域ケア型ボランティア、シニアクラブ、地域の事業所が連携・協力して、単身高齢者世帯等への定期的な見守り・訪問活動・できる範囲での生活援助活動などを行う取り組み。

（４）介護予防いきいき交流会事業の実施と事業の充実（市委託事業）

①介護予防いきいき交流会事業

- 事業説明：高齢者の閉じこもり予防や日常の健康を維持することを目的とした「いきいきふれあいサロン活動」を活用し、介護予防の内容を充実させた事業を行っている。
なお、介護予防いきいき交流会事業には、「地島ミニデイサービス」と「おおしまDEいきいき元気教室」も含まれる。
- 事業内容：●各区、町内会で行われている高齢者等を対象にしたサロン活動において、血圧、体脂肪等の測定及び簡単な健康相談などの健康チェックを実施。
●介護予防メニューとして、口腔ケア、栄養指導、運動指導を実施。
- 運営体制：市からの委託事業。各福祉会が実施し、本会は支援、連絡調整などを行っている。

地区ごとの 実施状況	開催箇所 (単位:ヶ所)	開催回数 (単位:回)	栄養指導 (単位:回)	口腔ケア (単位:回)	運動指導 (単位:回)
吉 武 地 区	1	15	0	0	1
赤 間 地 区	8	61	11	4	12
赤 間 西 地 区	10	60	3	2	10
自由ヶ丘地区	10	42	0	0	4
南 郷 地 区	10	70	3	2	13
河 東 地 区	7	40	4	1	6
東 郷 地 区	10	51	0	5	11
日 の 里 地 区	9	44	0	1	6
池 野 地 区	3	7	1	0	1
田 島 地 区	3	15	0	1	3
神 湊 地 区	2	16	1	2	6
岬 地 区	2	2	0	0	2
大 島 地 区	4	5	0	0	0
合 計	79	428	23	18	75

- 事業実績：●延べ参加者数：7,473人（65歳以上 6,693人、64歳以下 780人）
●延べ従事者数：3,238人
●合 計：10,711人

②介護予防いきいき交流会事業推進協力者研修の実施

- 事業説明：いきいきふれあいサロン活動の内容の充実と活動に関わる人材育成を目的に、研修会を開催。

- 事業内容：・日時：令和6年6月21日(金)10:00～11:30
・会場：メイトム宗像 多目的ホール
・講演：テーマ『みんなで作っていくサロンのあり方について』
筑紫女学園大学 名誉教授

山崎 安則氏

- ・事例発表

自由ヶ丘南1区 『いっくいっくケアビクスサークル』
日の里アパート1区 『日の里アパート1区自由サロン』

参加者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	79人	158人	157人

③地島ミニデイサービス事業の適切な運営

- 事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回、健康チェックを実施している。

- 実施場所：地島白浜公民館及び泊公民館

実施時期	参加者数	主な活動内容
9月25日	(白浜) 8人 (泊) 4人	健康チェック、管理栄養士による「血糖値について」講話、タオル体操
10月23日	(白浜) 8人 (泊) 6人	健康チェック、介護福祉士による脳トレ・運動、タオル体操
11月20日	(白浜) 7人 (泊) 5人	健康チェック、言語聴覚士による健口体操、タオル体操

④大島 DE いきいき元気教室の適切な運営

■事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回、健康チェックを実施している。

■実施場所：大島ふれ愛センター

実施時期	参加者数	主な活動内容
4月10日	15人	健康チェック、体力測定、食中毒予防について、タオル体操
5月8日	15人	健康チェック、体力測定、血圧について、タオル体操
6月12日	14人	健康チェック、体力測定、消化について、タオル体操
7月10日	16人	健康チェック、体力測定、口腔ケアについて、タオル体操
8月21日	16人	健康チェック、体力測定、糖尿病について、タオル体操
9月11日	16人	健康チェック、体力測定、熱中症予防について、自律神経について、タオル体操
10月9日	14人	健康チェック、体力測定、乾燥肌について、タオル体操
11月13日	14人	健康チェック、体力測定、転倒予防について、脳トレ、タオル体操
12月11日	14人	健康チェック、体力測定、転倒予防について、筋肉と転倒予防の関連性について、タオル体操
1月15日	8人	健康チェック、体力測定、転倒予防について、脳トレ、タオル体操

(5) 地区福祉会連絡協議会の活動状況

■事業説明：福祉会相互の情報交換、交流、研修等を通じ、それぞれの地域における福祉会活動を促進するとともに、市民参画型の地域福祉活動の充実を図ることを目的に平成9年に設置。13地区福祉会の代表者2名（会長、事務局長等）が協議会の理事となり、全26名で構成。

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事会(総会)	■6月4日 ■メイトム宗像 202会議室	① 令和5年度事業報告・決算報告及び監査報告について ② 令和6年度事業計画・予算について
研修会	■10月28日 ■メイトム宗像 202会議室	テーマ：『防災への関わりについて』 ～福祉会の役割・平時からの備え～ 講師：福岡県社会福祉協議会 災害福祉支援センター所長 藤本 博昭氏 ※研修会終了後、別会場にて懇親会を行った
情報交換会	■2月17日 ■メイトム宗像 202会議室	テーマ：『各福祉会の役員人選等について情報交換（グループワーク）』 ※地区福祉会連絡協議会規約の改正について

(6) 宗像市民生委員児童委員協議会と連携・支援

■事業説明：宗像市民生委員児童委員協議会と連携・協働し、小地域ネットワーク活動の推進、生活福祉資金の運営、歳末たすけあい募金など、様々な地域福祉活動に取り組んでいる。

■宗像市民生委員児童委員協議会への活動費補助金の交付

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	299,000円	299,000円	299,000円

(7) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援

■事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働し、小地域ネットワーク活動や介護予防いきいき交流会事業の推進、赤い羽根共同募金など、様々な地域福祉活動に取り組んでいる。

■宗像市シニアクラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	512,000 円	512,000 円	512,000 円

(8) ライフサポート事業等の実施

① ライフサポート事業（地域福祉権利擁護事業）

■事業説明：本会の独自事業として、高齢者、精神障がいのある人、知的障がいのある人などで判断能力が不十分な人の権利を擁護し、本人の意思に基づいて安心した生活を送ることができるよう支援する事業を平成25年8月から実施している。本事業利用の可否等を審査する「運営審議会」を奇数月（年6回）に開催している。

また、これまで県社会福祉協議会が実施主体であった「日常生活自立支援事業」の市町村実施方式への移行決定に伴い、令和元年10月から事業受託を開始。

■支援内容：①生活支援サービス…福祉サービス利用援助、定期訪問による見守り、郵便物の管理等

②生活費管理サービス…日常必要な預貯金の出し入れ等

③通帳等預かりサービス…預貯金通帳の保管や管理等

■職員体制：生活支援コーディネーター4人、市民生活支援員8人登録

■ライフサポート事業利用者数

【3月末現在の利用者数】

項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
高 齢 者	21 人	+7 人	16 人	-5 人	14 人	-2 人
知的障がい者	14 人	+3 人	13 人	-1 人	15 人	+2 人
精神障がい者	17 人	+5 人	14 人	-3 人	12 人	-2 人
そ の 他	4 人	+1 人	4 人	±0 人	4 人	±0 人
合 計	56 人	+16 人	47 人	-9 人	45 人	-2 人

■ライフサポート事業利用内容

項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
生活支援サービス	56 人	+16 人	47 人	-9 人	45 人	-2 人
生活費管理サービス	45 人	+10 人	47 人	+2 人	45 人	-2 人
通帳等預かりサービス	45 人	+10 人	34 人	-11 人	37 人	+3 人

■日常生活自立支援事業利用者数（福岡県社会福祉協議会委託事業）【3月末現在の利用者数】

項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
高 齢 者	7 人	0 人	5 人	-2 人	4 人	-1 人
知的障がい者	3 人	+1 人	5 人	+2 人	6 人	+1 人
精神障がい者	7 人	0 人	11 人	+4 人	13 人	+2 人
合 計	17 人	+1 人	21 人	+4 人	23 人	+2 人

■ライフサポート事業・日常生活自立支援事業/契約・利用者の推移

(単位：人)

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立
高齢認知	17	4	16	4	15	4	14	3	14	3	14	3
知的障がい	14	5	14	6	13	6	13	6	13	6	12	6
精神障がい	13	11	13	11	14	11	14	11	14	10	14	10
その他	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0
小計	48	20	47	21	46	21	45	20	45	19	44	19
合 計	68		68		67		65		64		63	

	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立
高齢認知	15	4	15	4	17	4	16	4	16	4	14	4
知的障がい	13	6	13	6	14	6	15	6	15	6	15	6
精神障がい	13	10	12	10	12	11	12	11	12	13	12	13
その他	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0
小計	45	20	44	20	47	21	47	21	47	23	45	23
合 計	65		64		68		68		70		68	

■ライフサポート事業・日常生活自立支援事業/相談援助件数

(単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
認知高齢	101	110	85	108	85	99	81	100	101	99	103	116	1,188
知的障がい	113	110	103	101	91	137	130	90	85	110	90	98	1,258
精神障がい	140	163	144	126	147	109	121	108	107	92	105	102	1,464
その他	8	0	22	16	11	19	16	9	9	7	9	8	134
合 計	362	383	354	351	334	364	348	307	302	308	307	324	4,044

②運営審議会の開催

■審議委員：弁護士、宗像市（生活支援課生活保護係主任主事、福祉政策課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括ケア推進係主任主事）、精神保健福祉士（宗像病院相談員）計 5 人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
令和 6 年度 第 1 回審議会	5 月 23 日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：2 件(新規：知的 1 件・精神 1 件)
令和 6 年度 第 2 回審議会	9 月 30 日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：4 件(新規：高齢者 2 件・知的 2 件)
令和 6 年度 第 3 回審議会	11 月 20 日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：5 件(新規：高齢者 2 件・知的 1 件・精神 2 件)

令和6年度 第4回審議会	1月24日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：2件(新規：精神2件)
令和6年度 第5回審議会	3月21日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：4件(新規：高齢者1件・知的1件・精神2件)

③その他の活動

項 目	開催日	主な内容
ケース会議	月1回 (計12回)	内 容：個別ケースの支援内容の検証と情報共有のための会議を毎月行った。
生活支援員の つどい	10月29日	目 的：ライフサポート事業・日常生活自立支援事業担当者を対象に、支援知識の習得および支援技術の向上を目的に生活支援員同士の交流を図る意見交換会を開催 内 容：自分も相手も大切にする「程よい距離」のコミュニケーション 場 所：メイトム宗像 203 会議室 参加者：市民生活支援員8人, 生活支援コーディネーター等10人

④参加した研修

研修名	受講日	主な内容
宗像地区市民後見人育成研修	6/8～11/22 (10日間)	場 所：宗像市役所 参加者：担当職員 2名
福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会Ⅰ	6月11日	内 容：「日常生活自立支援事業が地域で果たす役割と専門員に求められる基本姿勢」・「契約締結に至るまでの実際の専門員業務」 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 1名
令和6年度成年後見制度利用促進研修会	7月5日	内 容：「県内市町村の取組状況と県の支援について」・「専門職団体活動紹介」・「第2期基本計画の概要と地域連携ネットワークの確立」 場 所：オンライン研修 参加者 担当職員 1名
ひきこもり支援者研修会	7月9日	内 容：「引きこもりの多面的理解と支援 ～本人・家族支援のための5つのステップ～」 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 3名
令和6年度福祉分野で働くための基本を学ぶ研修	9月11日	内 容：「福祉の職場で働き始めたあなたへ」 場 所：クローバープラザ 参加者：担当職員1名
令和6年度成年後見制度における市町村申立研修会	10月31日	内 容：講義「成年後見制度の概要と市町村申立の実務」 活動報告：「八女市における活動報告について」 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 1名

2024 年愛夕研修セルフネグレクト支援	11 月 22 日	内 容：そのアプローチ方法とキルを学ぼう 講 義：「支援を求めない・受け入れられない状態向き合う支援のガイドライン」、「スキルの用い方に関する事例検討」 場 所：オンライン研修 参加者：4 名
成年後見制度についての勉強会 ～後見人のトリセツ～	11 月 28 日	内 容：「後見人との上手な付き合い方」～くらしに安心と安全を～ 講 義：成年後見てなに？ ～制度利用の手引き～ 場 所：メイトム宗像 101 会議室 参加者：担当職員 2 名
令和 6 年度成年後見制度利用促進実践研修	11 月 26 日	内 容：「事例検討」 場 所：クローバープラザ 参加者：担当職員 2 名
社会福祉法人が取り組む権利擁護支援研修会	1 月 20 日	内 容：講義・活動報告 講 義：「社会福祉法人に求められる成年後見制度を活用した権利擁護支援について」 報 告：「気づく！つなぐ！支える！成年後見制度を活用した権利擁護支援の取組」 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 4 人
令和 6 年度法人後見実施団体連合会事例・活動報告	1 月 22 日	内 容：「家庭裁判所からの情報提供」 報 告：行橋市社会福祉協議会・一般社団法人ばるむ 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 2 名
KAERU Biz 権利擁護のご案内	2 月 12 日	内 容：「日常金銭管理業務をスムーズに！」～見守り機能つきキャッシュレスサービスと活用事例のご紹介～ 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 1 名
令和 6 年度福祉サービス苦情解決従事者研修会	2 月 24 日	内 容：「コミュニケーション力と組織力を強化する苦情解決能力向上に向けて」 場 所：オンデマンド研修 参加者：担当職員 1 人
福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会Ⅱ	2 月 26 日	内 容：説明・講義・活動報告 講 義：「金銭管理の難しさと精神疾患」 場 所：クローバープラザ 参加者：担当職員 1 人
令和 6 年度権利擁護支援シンポジウム	3 月 7 日	内 容：チームによる権利擁護支援を考える ～権利擁護支援チームの役割と今後の方向性・課題～ 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 4 人
持続可能な権利擁護支援モデル事業連絡会	3 月 7 日	内 容：令和 6 年度モデル事業実施自治体連絡会 第 4 回 場 所：オンライン研修 参加者：担当職員 1 名

（９）法人後見事業の実施

- 事業説明：ライフサポート事業及び日常生活自立支援事業の利用者でライフサポート事業及び日常生活自立支援事業では対応が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人

の財産管理及び身上監護を行い、その権利を擁護することを目的として、令和3年1月から法人後見事業を開始している。

①受任実績：4件（補助2件、保佐2件）

②運営委員会の開催

■審議委員：弁護士、司法書士、宗像市（生活支援課生活保護係主任主事、福祉政策課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括ケア推進係主任主事）、精神科医師、他市社会福祉協議会（社会福祉士） 計7人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
令和6年度 第1回委員会	6月29日	内 容：新規申込者の審議について（高齢1件）
令和6年度 第2回委員会	2月13日	内 容：受任ケースの現況報告4件 ▼受任ケース（高齢4件）

（10）心配ごと相談所設置事業

■事業説明：心配ごと相談所への相談内容は、複雑化・多様化している。そのため、他の相談機関とも連携を図っている。主に、法律、財産、離婚、家族関係等の相談が多くを占めている。相談員は3人で、相談は個別（個室）面接方式で行っている。

■相談日：①毎月第1・2・4木曜日・場所：市役所1階

②偶数月第3木曜・場所：日の里コミセン

③奇数月第3木曜・場所：自由ヶ丘コミセン

■相談員：3人 ■相談件数合計：456件 ■利用者数：95人

■相談件数及び相談内容

内 容		人権 法律	財 産	家 族 関 係	離 婚 結 婚	生 計 年 金	住 宅	事 故	健 康 医 療	職 業 生 業	苦 情	福 祉 関 係	そ の 他	合 計
件 数	令和4年度	40	39	43	11	56	26	6	17	12	2	27	8	287
	令和5年度	78	70	73	20	61	40	16	33	15	7	61	25	499
	令和6年度	64	63	72	21	75	41	6	37	0	4	60	13	456

（11）災害ボランティア活動における協力・連携

■事業説明：宗像市と宗像市社会福祉協議会との間で締結している「災害時におけるボランティア活動に関する協定書」に基づき、災害が発生し、宗像市からの災害ボランティアセンターの設置要請を受け、そのボランティア活動に関わる一連の運営・管理を行う。また、設置・運営に向けた必要な取り組みを実施する。

『宗像市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル』を策定（令和2年度）
また、福岡県社協からの要請等により、他自治体災害被災地に職員を派遣する。

■関係機関と協力・連携を行うための会議への参加（市危機管理課主催）

迅速な災害対応に繋げるとともに、有事の際の協力体制を構築するための情報共有を行った。
参加団体・機関等：市危機管理課、市コミュニティ協働推進課、県社協、トヨタ自動車九州株式会社、日本赤十字九州国際看護大学、青年会議所

■災害ボランティアセンター資機材倉庫の設置

福岡県共同募金会からの配分金（300万円）を活用し、3市社協合同で資機材倉庫の設置（メイトム宗像・おもちゃ図書館横：令和6年2月末完成）及び災害支援活動に使用する資機材を購入した。

(12) 宗像市遺族連合会活動への助成

- 事業説明：宗像市遺族連合会へ活動費補助金の交付を行っている。
- 宗像市遺族連合会へ活動費補助金の交付。

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,099,000 円	1,099,000 円	1,099,000 円

(13) 社協出前講座の実施

- 事業説明：地域における住民主体の地域課題解決・包括的な支援体制の第一の取り組みとして、自治会など小地域を対象に出前講座を平成29年4月から開始した。
出前講座の内容は、地域課題や福祉課題解決に向けた「見守りネットワーク入門」「福祉座談会」など12項目。
- 実施回数：実施状況

講座No.	講座内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
No.3	「福祉ってなに？」	生活支援体制整備事業の取り組みに包含	生活支援体制整備事業の取り組みに包含	生活支援体制整備事業の取り組みに包含
No.4	地域の助け合い・支え合いを考える～見守りネットワーク入門～			
No.5	地域の助け合い・支え合いを考える～ご近所支え合いマップづくり入門～			
No.6	地域の助け合い・支え合いを考える～福祉座談会～			
No.7	暮らしの安心をサポートします～地域福祉権利擁護事業～			

4 広報公聴活動の推進

(1) 社協だよりの発行

- 事業説明：市広報紙「タウンプレスむなかた」を利用して、年6回（偶数月）発行。
市民に向けて、地域福祉活動及び本会活動等についての情報提供を行っている。

実施時期	記事の内容
■第211号 4月1日発行 (2頁)	青葉台1丁目市民花壇を守る会～花壇を活用した居場所づくり～・日の里包括横ばんての居場所「遊楽サロン」の紹介、認知症に関するお知らせ、手話講習会受講者募集のお知らせ、ボランティア活動保険更新・加入受付中 他
■第212号 6月1日発行 (1.5頁)	令和6年度宗像市社会福祉協議会事業計画・予算、在宅介護一日リフレッシュ事業の募集、認知症サポーター養成講座開催のお知らせ、令和6年能登半島地震義援金のお礼について、障害者センター通信 ピアサポート事業案内 他
■第213号 8月1日発行 (1.5頁)	令和5年度決算報告、「つながれ出会い、つながるオレンジカフェ in 城西ヶ丘」、認知症支援に関するお知らせ（本人交流会）、おもちゃ図書館よりお知らせ 他
■第214号 10月1日発行 (2頁)	赤い羽根共同募金協力をお願い（たすけあいの心、前年度実績額、使いみち、目標額、目安額、支えられている募金、災害等準備金積立）、共同募金配分団体紹介（宗像市地域福祉文庫連絡協議会）、母子寡婦福祉会のお知らせ、かたつむりの会講演会のお知らせ、認知症サポーター養成講座開催のお知らせ、第2回ピアサポート事業参加者募集のお知らせ、在宅介護者支援事業1泊リフレッシュセミナー参加者募集、地域福祉文庫連絡協議会講演会参加者募集 他

■第 215 号 12 月 1 日発行 (1.5 頁)	福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクール、歳末たすけあい募金協力依頼、「地島ミニデイ」のご紹介、おもちゃ図書館休館日お知らせ 他
■第 216 号 2 月 1 日発行 (2 頁)	歳末たすけあい募金寄付謝礼（岡垣第一幼稚園、寄付者名簿）、つなぐひろがれシリーズ～公民館いいかもしれないプロジェクト～、赤い羽根共同募金ご協力謝礼、寄付謝礼～くりえいと宗像 24 周年感謝祭～、障害者生活支援センター通信～第 3 回ピアサポート事業参加者募集のお知らせ「ゆったり茶話会」～、在宅介護者応援セミナーのご案内 他

（２）本会ホームページの管理・運営

①ホームページの管理・運営

■事業説明：インターネットの活用による市内外の人へ随時情報を提供するとともに、「社協だより」、「ボランティアセンターだより」、本会の各種計画、地区福祉会の地域福祉活動計画等のデータベース化を行っている。

■実施内容：本会ホームページの適切な管理・運営に努めた。「バナー」広告に関しては、随時募集を行った。令和 3 年度には、ホームページのリニューアル作業を実施し、スマートフォンでの閲覧の利便性を図った。

アクセス ログイン数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	39,223 件	43,665 件	48,354 件

5 高齢者福祉事業の推進

（１）宗像市在宅介護者支援事業（市委託事業）

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者を対象に、より良い介護が継続できるよう介護に関する研修とリフレッシュ事業（介護者交流会）を実施するもの。

実施事業	実施時期	主な活動内容
在宅介護者応援セミナー	2 月 12 日(水)	テーマ：訪問看護 ～地域で最期まで自分らしく～ 講師：在宅看護センターミモザ 代表 長澤 祐子 看護師 会場：メイトム宗像 202 会議室 人数：37 人
一泊リフレッシュセミナー	11 月 19 日(火) ～20 日(水)	行先：福岡県京築地区・北九州市若松区 人数：7 人（男性 1・女性 6）
一日リフレッシュセミナー	7 月 8 日(月)	行先：福岡県北九州市門司区等 人数：20 人(随行者含む)

（２）在宅介護家族の会ひまわり活動助成支援

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者で組織している「ひまわりの会」への活動支援及び資金支援などを行った。

■宗像市在宅介護家族の会“ひまわり”への活動費補助金の交付

補助金交付額	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	155,000 円	155,000 円	155,000 円

（３）宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援（再掲）

※3 “ともにいきるまち宗像”推進事業の充実（7）宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援を参照（P15）。

(4) 鍼灸治療費補助事業

- 事業説明：高齢者の健康維持のため、社会保険加入者を対象に鍼灸治療費の一部を補助。
平成 20 年度から、後期高齢者医療被保険者についても市の委託事業として本会で一部補助を開始した。

■鍼・灸治療費の助成内容：一回につき 500 円、月 5 回まで

鍼灸延べ 利用件数	保険種別	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	社会保険被保険者	1,447 件	1,202 件	1,251 件
	後期高齢者医療被保険者	2,915 件	2,569 件	2,763 件

(5) 認知症サポーター養成講座事業及び認知症サポーター活動支援事業

1. 認知症サポーター養成事業

①認知症サポーター養成講座

- 事業説明：平成 25 年度から宗像市より受託しているこの講座は、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族の「尊厳ある暮らし」を守り、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して実施している。現在、市内には 1.5 万人以上のサポーターが誕生している。

■実施方法：本会職員が講師役「キャラバン・メイト」養成講座を受講し、学んだ知識や体験などを踏まえ、地域、学校、職場などで養成講座を開催している。

■事業実績

項目／年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数	19 回	11 回	20 回
受講者数	1,130 人	478 人	1,440 人

②認知症サポーターステップアップ研修会

- 事業説明：この講座は、「認知症サポーター養成講座」を修了した人を主として、培った知識を深め、認知症の方やその家族を認知症サポーターや地域住民等が地域全体で支える仕組み作り（チームオレンジ）を推進するための講座である。

■事業実績

項目／年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数	1 回	1 回	1 回
受講者数	36 人	41 人	31 人

開催日	場所	内容
令和 6 年 12 月 19 日（木） 13:30～15:30	メイトム宗像 202 会議室	第 1 部 チームオレンジの概要と宗像市の取り組みについて 第 2 部 まっちゃんの家代表松下氏・王将の会発起人山口氏を迎えてトークセッション 第 3 部 チームオレンジサポーター活動紹介 第 4 部 グループワーク 第 5 部 チームオレンジサポーター紹介

③キャラバン・メイト養成

- 事業説明：「キャラバン・メイト」とは、地域で暮らす認知症の人やその家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーター養成講座」の講師役である。認知症サポーター養成講座では、本会職員 5 名が講師を務めている。

日程	場所	研修名	参加数
10 月 9 日（水）	福岡県介護実習・普及センター	令和 6 年度キャラバン・メイトフォローアップ養成研修	2 人

2. 認知症サポーター活動支援事業

①認知症地域支援推進員活動

■事業説明:認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、各日常生活圏域の地域包括支援センター、基幹型地域包括支援センター等に配置されている。医療機関・介護サービス事業所・地域の支援機関間の連携を図るための支援及び認知症の人やその家族を支援する相談業務等を担っている。

■研修関係

	日程	場所	研修名
1	5月14日 (火)	福岡市市民福祉プラザ	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」についての理解を深める勉強会
2	5月16日 (木)	宗像ユリックス ハーモニーホール	認知症講演会 認知症とともに生きる～かわらない友人・仲間とともに～
3	7月27日 (土)	TKP 博多駅前シティセンター	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」についての理解を深める勉強会
4	7月31日 (水)	Web 研修	オレンジイノベーションプロジェクト説明会
5	8月28日 (水)、29日 (木)	Web 研修	認知症地域支援推進員現任者研修
6	8月30日 (金)	Web 研修	生活支援コーディネーター養成オンライン研修
7	11月12日 (火)	JR 博多シティ	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」についての理解を深める勉強会
8	12月1日 (日)	メイトム宗像	教育福祉講演会「時間の枠をこわす～認知症高齢者と子どもたち」
9	3月5日 (水)	Web 研修	認知症ケア研修 ～BPSDの軽減及び予防を目指した介護～
10	3月11日 (火)	県庁	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」についての理解を深める勉強会

■会議

(1) 認知症地域支援推進員会議

	日程	場所
1	4月15日 (月)	宗像市役所 103A 会議室
2	5月20日 (月)	宗像市役所 103A 会議室
3	6月17日 (月)	宗像市役所 103A 会議室
4	7月22日 (月)	宗像市役所 103A 会議室
5	8月19日 (月)	宗像市役所 301 会議室
6	9月30日 (月)	宗像市役所 103A 会議室
7	10月21日 (月)	宗像市役所 201 会議室
8	11月18日 (月)	宗像市役所 202 会議室
9	12月16日 (月)	宗像市役所 103A 会議室
10	令和7年1月20日 (月)	宗像市役所 103A 会議室
11	2月17日 (月)	宗像市役所 202 会議室

(2) 第2層地域支え合い推進員担当者的会議

	日程	場所
1	4月1日 (月)	メイトム宗像 203 会議室
2	5月2日 (木)	メイトム宗像 203 会議室
3	6月3日 (月)	メイトム宗像 203 会議室
4	7月1日 (月)	メイトム宗像 203 会議室

5	8月5日（月）	メイトム宗像 203 会議室
6	9月2日（月）	メイトム宗像 203 会議室
7	10月7日（月）	メイトム宗像 203 会議室
8	11月7日（木）	メイトム宗像 203 会議室
9	12月2日（月）	メイトム宗像 203 会議室
10	令和7年1月6日（月）	メイトム宗像 203 会議室
11	2月3日（月）	メイトム宗像 203 会議室
12	3月3日（月）	メイトム宗像 203 会議室

■その他

	日程	場所	内容
1	6月26日（水）	メイトム宗像 101 会議室	キャラバン・メイトプレゼンテーション
2	6月28日（金）	メイトム宗像 201 会議室	キャラバン・メイトプレゼンテーション
3	10月2日（水）	赤間ヶ丘第二区公民館	赤間ヶ丘二区会福祉会講話
4	令和7年1月21日（火）	城山公民館	城山区福祉会認知症講話
5	2月12日（水）	ひかりヶ丘公民館	「認知症を正しく理解しよう」（いきいきふれあいサロンにて認知症講話）
6	3月25日（火）	宗像市社会福祉協議会 居宅介護支援センター	認知症講話

②-1 オレンジ（認知症）カフェ

■事業説明：オレンジ（認知症）カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民など誰もが集うことのできる場所である。認知症になっても認知症の人や家族が安心して地域で生活できるように、人や地域との繋がりを結ぶことや認知症について正しい知識の普及啓発を目的に開催している。この活動を推進するために、宗像市内においてカフェを実施・運営する団体と個人に対し、その事業費の一部を助成している。

■実施方法：認知症に関する講話、レクリエーション、医療・介護・福祉分野の専門職による相談コーナーなどを設けている。

■相談協力団体：宗像市、宗像市内の地域包括支援センター

■開催回数及び参加者数：7回開催 延べ350人

	日程	場所	参加者数	実施団体	内容
1	5月26日（日） 10:00～12:00	城西ヶ丘公民館	72人	城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛	・認知症講話（社協） ・音楽療法 ・ハンドマッサージ ・おしゃべりタイム ・相談コーナー
2	5月29日（水） 13:00～15:00	自由ヶ丘第3区公民館	45人	自由ヶ丘第3区福祉会	・認知症講話（社協） ・音楽を通じたコミュニケーション ・ハンドマッサージ ・おしゃべりタイム ・相談コーナー
3	6月7日（金） 13:00～15:30	自由ヶ丘コ	35人	自由ヶ丘第2区福祉会	・認知症講話（社協） ・警察署講話

		ミセンホール AB		社会	・ネイルケアコーナー ・おしゃべりタイム ・相談コーナー
4	11月24日(日) 10:00~12:00	城西ヶ丘 公民館	102人	城西ヶ丘見守りネ ットワークむすび 愛	・認知症講話(社協) ・沖縄三線演奏、口腔 体操 ・ハンドマッサージ ・おしゃべりタイム ・相談コーナー
5	11月27日(水) 10:00~11:45	自由ヶ丘南 2区公民館	28人	自由ヶ丘南第1 区・第2区福社会	・認知症講話(社協) ・和琴演奏 ・ハンドマッサージ、 ネイルケアコーナー ・おしゃべりタイム ・相談コーナー
6	2月26日(水) 13:00~15:00	自由ヶ丘第 3区公民館	37人	自由ヶ丘第3区公 民館	・認知症講話(社協) ・マジックショー ・ハンドマッサージ ・おしゃべりタイム ・相談コーナー
7	2月28日(金) 13:00~15:00	自由ヶ丘第 1区福社会 西町	31人	Fコープ2F会議室	・認知症講話(社協) ・警察署講話 ・おしゃべりタイム ・相談コーナー

②-2 オレンジカフェ情報交換会

■事業説明：オレンジカフェの実施運営主体は、市内で活動しているボランティア団体や事業所である。カフェ事業に取り組む中で、実施運営団体、認知症の人とその家族、市、本会が一同に会し、疑問点・改善点など様々な課題や気づき、意見交換、現状の把握など、情報と意見交換等を行うことを目的に、年1回開催している。

・オレンジカフェ情報交換会

日程	場所	参加者及び団体	内容
3月26日(水) 10:00~12:00	メイトム 宗像内 203	認知症のある人とその家族・地域ボランティア及び高齢者分野 関連団体・宗像市・宗像市内地 域包括支援センター (6団体、10人)	・オリエンテーション ・実績報告 ・情報交換タイム ・オレンジカフェについて情報提供 ・オレンジカフェといきいきふれあいサロン併設開催の終了について

③「本人ミーティング」に関する取り組み

■事業説明：認知症本人が集まり、互いの体験や希望、必要としていることを語り合い、これからも希望を持って暮らせるよう交流する場である「本人ミーティング」の輪が全国で広がっている。本市でも今年度より、「本人ミーティング」を本人、家族や地域の人とともに月7回定例開催している。

■開催回数及び参加者数：62回開催 延べ509人

・まっちゃんの一部屋

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月2日	赤間西コミセン カルチャールーム	6人	座談会
2	5月7日	赤間西コミセン カルチャールーム	10人	座談会
3	6月4日	赤間西コミセン カルチャールーム	10人	座談会
4	8月6日	赤間西コミセン カルチャールーム	8人	座談会
5	9月3日	赤間西コミセン カルチャールーム	8人	座談会
6	10月1日	赤間西コミセン カルチャールーム	12人	座談会
7	11月5日	赤間西コミセン カルチャールーム	8人	座談会
8	12月3日	赤間西コミセン カルチャールーム	13人	座談会
9	1月7日	赤間西コミセン カルチャールーム	8人	座談会
10	2月4日	赤間西コミセン カルチャールーム	6人	座談会
11	3月4日	赤間西コミセン カルチャールーム	17人	座談会

・囲碁の会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月3日	日の里包括支援センター「ぼんて」	1人	囲碁、おしゃべり
2	5月1日	日の里包括支援センター「ぼんて」	3人	囲碁、おしゃべり
3	6月5日	日の里包括支援センター「ぼんて」	4人	囲碁、おしゃべり
4	7月3日	日の里包括支援センター「ぼんて」	5人	囲碁、おしゃべり
5	8月7日	日の里包括支援センター「ぼんて」	4人	囲碁、おしゃべり
6	9月4日	日の里包括支援センター「ぼんて」	4人	囲碁、おしゃべり
7	10月2日	日の里包括支援センター「ぼんて」	3人	囲碁、おしゃべり
8	11月6日	日の里包括支援センター「ぼんて」	4人	囲碁、おしゃべり
9	12月4日	日の里包括支援センター「ぼんて」	8人	囲碁、おしゃべり
10	1月8日	日の里包括支援センター「ぼんて」	4人	囲碁、おしゃべり
11	2月5日	日の里包括支援センター「ぼんて」	4人	囲碁、おしゃべり
12	3月5日	日の里包括支援センター「ぼんて」	5人	囲碁、おしゃべり

・花さく会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月11日	日の里包括支援センター「ぼんて」	17人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
2	5月9日	日の里包括支援センター「ぼんて」	14人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
3	6月13日	日の里包括支援センター「ぼんて」	17人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
4	7月11日	日の里包括支援センター「ぼんて」	21人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
5	8月8日	日の里包括支援センター「ぼんて」	17人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
6	9月12日	日の里包括支援センター「ぼんて」	14人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
7	10月10日	日の里包括支援センター「ぼんて」	16人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
8	11月14日	日の里包括支援センター「ぼんて」	16人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
9	12月12日	日の里包括支援センター「ぼんて」	18人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
10	令和7年 1月9日	日の里包括支援センター「ぼんて」	15人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
11	2月13日	日の里包括支援センター「ぼんて」	15人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
12	3月13日	日の里包括支援センター「ぼんて」	13人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他

・それでいい

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月19日	メイトム宗像結工房	8人	座談会
2	5月17日	メイトム宗像 101 会議室	4人	座談会
3	6月21日	メイトム宗像結工房/101 会議室	9人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
4	7月19日	メイトム宗像結工房/101 会議室	8人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
5	8月16日	メイトム宗像結工房/101 会議室	8人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
6	9月20日	メイトム宗像結工房/101 会議室	6人	家族の部屋（座談会）
7	10月18日	メイトム宗像結工房/101 会議室	8人	本人の部屋（写真）、家族の部屋（座談会）
8	11月15日	メイトム宗像 101 会議室	9人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
9	12月20日	メイトム宗像結工房/101 会議室	8人	本人の部屋（将棋・写真）、家族の部屋（座談会）

10	令和7年 1月17日	メイトム宗像結工房	7人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
11	2月21日	メイトム宗像結工房	7人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
12	3月21日	メイトム宗像結工房	6人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）

・王将の会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月25日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
2	5月23日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
3	6月27日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	7人	将棋、おしゃべり
4	7月25日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	8人	将棋、おしゃべり
5	8月22日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	9人	将棋、おしゃべり
6	9月26日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	7人	将棋、おしゃべり
7	10月24日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	4人	将棋、おしゃべり
8	11月28日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	1人	将棋、おしゃべり
9	12月26日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	1人	将棋、おしゃべり
10	令和7年 1月23日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	1人	将棋、おしゃべり
11	2月27日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	3人	将棋、おしゃべり
12	3月27日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	6人	将棋、おしゃべり

・ゆりの会

	日程	場所	参加者数	内容
1	令和7年2月12日	グレース東郷	2人	座談会
2	3月12日	グレース東郷	4人	座談会

・みんなでやろう会

	日程	場所	参加者数	内容
1	令和7年2月28日	池野コミセン 会議室	10人	企画会議

④RUN 伴（＋）遠賀・宗像・古賀・新宮エリア実行委員会活動

■事業説明：日本全国のまちが、認知症になっても安心して暮らしていくことができる地域になることを目指して、認知症の人とともにタスキをつなぐ列島リレー「RUN 伴」に平成27年から参加していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催中止以降、本地域でRUN 伴およびRUN 伴＋は開催されていない。

⑤チームオレンジ活動

■事業説明：令和5年度より認知症の人とともに支え合う地域づくりを目指してチームオレンジ活動に取り組んでいる。今年度は14人のチームオレンジサポーターが参加した。

■チームオレンジミーティング

■開催回数及び参加者数：4回開催 延べ30人

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月25日（木）	メイトム宗像 101 会議室	7人	昨年度のふりかえりと「おもやいカフェ」開催目的について
2	6月14日（金）	メイトム宗像 202 会議室	7人	新しい認知症観と「おもやいカフェ」開催に向けた準備
3	10月29日（火）	メイトム宗像 202 会議室	9人	チームオレンジ活動充実のための意見交換
4	令和7年 3月6日（木）	メイトム宗像 203 会議室	7人	「おもやいカフェ」について今年度のふりかえりと意見交換

(6) 配食サービス事業

■事業説明：主に玄海地区で、高齢者への「ふれあい型配食サービス事業」を実施しているボランティア団体へ助成を行った。

助成額	団体名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	浜ゆうの会	138,000 円	138,000 円	138,000 円

6 障がい児者福祉事業の推進

(1) 障がい児者福祉団体活動への支援

①宗像市あゆみの会活動への助成・支援

■内 容：宗像市あゆみの会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	225,000 円	225,000 円	225,000 円

②宗像市身体障害者福祉協会活動への助成・支援

■内 容：宗像市身体障害者福祉協会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	340,000 円	340,000 円	690,000 円

③あじさいの会活動への助成・支援

■内 容：障がいのある人とボランティアが協働で社会参加活動を行う「あじさいの会」へ、活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	80,000 円	80,000 円	80,000 円

④宗像コスモス会への助成

■内 容：精神に障がいのある人とその家族で構成する福祉団体コスモスの会へ、活動費補助金を交付。

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	88,000 円	88,000 円	88,000 円

⑤パソコンクラブへの支援

■内 容：障がいのある人で構成される社会参加型のパソコンクラブ。本会の福祉教育読本とにも生きる感想文集のデジタル化（パソコン入力）を毎年行なっている。

委託金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	30,000 円	30,000 円	30,000 円

(2) 障がい者等への情報配信事業

①手話講習会事業

■事業説明：コミュニケーション方法のひとつ「手話」を学び、聴覚障がいや難聴の人の理解促進を図る事業。

■会 場：●火曜・土曜コース…メイトム宗像 ●金曜コース…玄海地区コミセン

■講習会日時：●火曜コース…19時から21時 ●金曜コース…13時30分から15時30分
●土曜コース…13時から15時

■運営委託

①手話サークル「シュワッチ」火・土曜コース ②玄海手話サークル「ゆび」金曜コース

活動実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度
------	-------	-------	-------

	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
火曜	26 回	887 人	34 回	908 人	31 回	935 人
金曜	37 回	271 人	35 回	331 人	36 回	440 人
土曜	25 回	355 人	36 回	1,572 人	31 回	1,916 人
合計	88 回	1,513 人	105 回	2,811 人	98 回	3,291 人

※令和6年度は悪天候のため2回休講、8月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休講とした。

②声の広報配布事業

■事業説明：視覚に障害のある市民へ市や地域の情報を届けるため、毎月1回宗像市広報「むなかたタウンプレス」等を音訳、デジタル録音したCDを配布する事業。

■委託団体：日の里テープの会・ボランティアグループグリーンボイス・森林都市うぐいす

利用者数 (視覚障がい者)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	11 人	11 人	11 人

③要約筆記ボランティア事業

■事業説明：聴覚・言語・音声機能などの障がいのために、意思疎通を図ることに支障のある人に対する要約筆記活動を軸にしたボランティア活動。本会が実施している福祉ボランティア養成講座「要約筆記ボランティアコース」の受講者を中心に結成された「暖歩（ダンボ）」が活動。

■活動内容

実施日	場 所	主な活動内容
適宜	メイトム宗像	学習会、講演会等での要約筆記協力 ●パソコン要約筆記学習 ●手書きによる要約筆記学習 ●ノートテイク活動

(3) おもちゃ図書館の運営

■事業説明：障がいのある人や子ども、高齢の人が「布のおもちゃ」などの療育遊具等で遊びながら療育を行うことができる施設を開設し、おもちゃの貸し出しも実施している。館の運営、布おもちゃの作成はボランティアに委託している。おもちゃの作成、貸し出し運営以外にも広報紙「たんぽぽ通信」を発行、訪問型のおもちゃ図書館「出張おもちゃ図書館」を実施。

■開館場所：メイトム宗像別館「居宅介護支援センター」1F

■開館日時：毎週木曜日 14：00～17：00・第2・4土曜日 14：00～16：00

■運営委託：宗像おもちゃライブラリー

	項目／年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
活動実績	制作・修理点数	75 点	73 点	119 点
	貸出し点数	567 点	567 点	669 点
	延べ利用入館者数	278 人	377 人	588 人
	出張・臨時おもちゃ図書館	3 回	4 回	4 回

■出張・臨時おもちゃ図書館：おもちゃ図書館に来所することが困難な団体などに対し、出張訪問などで対応する。

日程	訪問先	参加者数
7月31日	古賀特別支援学校	150 人
2月10日	赤間小学校	58 人
3月5日	赤間西小学校	22 人
3月18日	日の里東小学校	10 人
合計	4 回	240 人

(4) 車イス移送車貸出事業

■事業説明：高齢又は障がいのある車イスの利用者が、地域の行事への社会参加及び通院など、自由に外出できるよう車イス移送車を貸し出す事業。

活動実績	項目／年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	利用登録数	個人	10人	11人	12人
		団体	2団体	1団体	1団体
		スロープカー	46回	45回	38回

7 低所得者福祉事業の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業（福岡県社会福祉協議会委託事業）の推進

①生活福祉資金貸付・償還事務の適切な実施

■事業説明：生活福祉資金は、低所得者の経済的自立や失業による一時的な困窮など、安定した生活を営めるように資金を貸付する制度。資金の種類としては、高校・大学などへの進学や卒業を支援する「教育支援資金」、生活保護受給や初任給までのつなぎとしての「緊急小口資金」、失業者への総合的な支援に活用できる「総合支援資金」などがある。また、令和2年3月下旬より緊急小口資金と総合支援資金の一部貸付要件が緩和され、新型コロナウイルスの影響で収入減となった世帯への特例貸付は約2年半に渡り実施され、令和4年9月末で終了した。

貸付実績	項目／年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	教育支援資金	6件	17件	22件
	福祉費	0件	6件	4件
	緊急小口資金	106件	24件	26件
	臨時特例つなぎ資金	0件	1件	1件
	総合支援資金	70件	1件	0件
	合 計	182件	49件	53件

②「生活困窮者支援制度」による支援事業との連携

■事業説明：支援調整会議（事務局：宗像市生活支援課）に出席し、「生活困窮者支援制度」に関わる個別ケースについての情報共有を行うことで、社会福祉協議会が行っている「生活福祉資金貸付事業」との連携を図った。

(2) 歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分

①歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分

■事業説明：歳末たすけあい募金の実施に関して、宗像市民生委員児童委員協議会と協働して取り組むもの。

■実施内容：新型コロナウイルス感染予防のため2年間活動を中止したが、令和4年度より各商店や企業などへ募金の依頼を再開し、従来の個別訪問方式から、郵送振込方式へ見直した。また、民生委員児童委員と協働し、JR各駅や道の駅むなかた、サンリブなどで街頭募金を実施した。集まった募金は、支援を必要とする世帯、子育て支援団体、本会の教育支援資金の貸付を受けた高校生が属する世帯（生活保護世帯除く）に対して募金の配分を行った。

■実施期間：11月1日～12月31日

活動実績	項目／年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	募金実績額		857,739円	765,696円	821,964円
	配分金額	支援を必要とする世帯	190,000円	275,000円	235,000円

	(一部、翌年度配分含む)	※子育て支援団体	660,000 円	490,000 円	586,000 円
		共同募金へ繰入	7,739 円	696 円	964 円

※子育て支援団体：子育てサークル、子育て・母子福祉支援団体。

8 子育て子育て・母子寡婦福祉支援事業の推進

(1) 子育て・子育て支援事業の充実

①こねっと活動助成支援

■事業内容：子育て支援事業に取り組んでいる「NPO 法人むなかた子育てネットワークこねっと」への活動費補助金を交付。

補助金交付額	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	40,000 円	40,000 円	40,000 円

②子育て支援団体等への活動費助成支援

■事業説明：歳末たすけあい募金の中から、助成を希望する子育て支援団体等へ活動資金の助成を行う。

※（ ）内の数字は助成団体数

配分金交付額	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	660,000 円 (7)	490,000 円 (7)	586,000 円 (7)

(2) 地域福祉文庫連絡協議会活動助成支援

■事業説明：地域の子どもたちに本の楽しさ、面白さを知ってもらうために、地域福祉文庫の設置を行った。現在では、4 文庫が活動を行っている。平成 18 年に、5 つの文庫で構成する連絡協議会を設立した。

■活動内容：各文庫間の情報交換、絵本の素晴らしさや絵本を通じた親子のふれあいの大切さなどを伝えるための活動を支援。また、各文庫活動の質の向上を図るため、会員研修会の実施を支援した。

実施事業	実施時期	主な活動内容
講演会	12 月 13 日	テーマ：『絵本のたのしみ』 講師 国立青少年教育振興機構 絵本専門士 吉岡林子さん 参加者：20 人

■助成内容：宗像市地域福祉文庫連絡協議会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	145,000 円	245,000 円	245,000 円

(3) 宗像市母子寡婦福祉会活動助成支援

■事業説明：母子家庭の母親の就労支援及び子育て支援、福祉の向上を図るため、宗像市母子寡婦福祉会の活動支援と協力を実施。

■活動内容：宗像市母子寡婦福祉会へ活動補助金の交付、事業の活動支援等を行った。

■助成内容：宗像市母子寡婦福祉会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	270,000 円	270,000 円	270,000 円

9 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進校（園）指定事業の実施

①福祉教育推進校（園）の指定

■事業説明：平成18年度から福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を対象に「推進校」を指定し、子どもへの福祉教育を実施するもの。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定校（園）数	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校1校 【計：27校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 【計：28校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校8校 ⑤高校2校 【計：29校・園】

②福祉教育推進校（園）への福祉体験学習等の支援

■事業説明：福祉教育推進校（園）が実施する福祉体験学習等の実施を支援した。

■実施校数：小学校13校、中学校1校、高校1校

対象者数	学校/学年	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
	小学校	0 人	0 人	776 人	851 人	340 人	80 人	2047 人
	中学校	104 人	0 人	0 人				104 人
	高 校	385 人	379 人	0 人				764 人
					令和 6 年度	合計	2,915 人	
					令和 5 年度	合計	2,533 人	
					令和 4 年度	合計	2,486 人	

■主な支援内容

学校名	対象者	主な活動内容
吉武小学校	3年生 (33人)	■実施日 ：6月10日、24日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：手話体験、聴覚障がい者との交流
	4・5年生 (28人)	■実施日 ：6月13日、14日 ■主な協力者 ：車いす利用者 ■主な内容 ：視覚障がい者との交流会
	6年生 (27人)	■実施日 ：5月8、13、21日 ■主な協力者 ：保護者 ■主な内容 ：宗像市・吉武地区の現況、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座
赤間小学校	4年生 (150人)	■実施日 ：9月9日（担任5人に車椅子、アイマスク体験伝達講習） その後学校側で9月18日、9月19日実施 9月20日、24日（点字体験） 10月11日（交流会） ■主な協力者 ：点訳ボランティア「てんとうむし」、視覚障がい者 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験、視覚障がい者との交流
赤間西小学校	3年生 (81人)	■実施日 ：2月26日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：リモートによる手話体験、聴覚障がい者との交流
	4年生 (93人)	■実施日 ：9月10日、13日、26日 ■主な協力者 ：ガイドボランティア「アイフレンド」、視覚障がい者 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験、視覚障がい者との交流

自由ヶ丘小学校	3年生 (110人)	■実施日 ：1月31日、2/7 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：リモートによる聴覚障害者との交流、質疑応答、手話体験
	4年生 (102人)	■実施日 ：11月20日、24日、31日 ■主な協力者 ：ガイドボランティア ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験、点字体験、視覚障がい者との交流 12/3
	5年生 (78人)	■実施日 ：1月31日 ■主な協力者 ：自由ヶ丘地区福祉会役員と保護者 ■主な内容 ：車いす体験学習
東郷小学校	3年生 (118人)	■実施日 ：1月30日、3月4日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：リモートによる聴覚障害者との交流、質疑応答、手話体験
	4年生 (105人)	■実施日 ：9月12日、18日、25日、10月3日、11月14日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、点訳ボランティア「てんとうむし」、ガイドボランティア「アイフレンド」、東郷地区福祉会、東郷地区民生委員児童委員 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験（児童及び保護者）点訳体験、視覚障がい者との交流会、学習発表会
南郷小学校	3年生 (41人)	■実施日 ：2月19日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：リモートによる聴覚障害者との交流、質疑応答、手話体験、南郷コミセンでの作品展示
	4年生 (37人)	■実施日 ：11月13日、22日、28日、12月10日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、点訳ボランティア「てんとうむし」、ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験（児童及び保護者）、点訳体験、視覚障がい者との交流
	6年生 (49人)	■実施日 ：10月19日、27日、31日 ■主な協力者 ：保護者、中央学園サポート隊等 ■主な内容 ：宗像市、南郷地区の高齢者の現況、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座
日の里西小学校	3年生 (66人)	■実施日 ：10月29日、11月6日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：リモートによる聴覚障害者との交流、質疑応答、手話体験
	4年生 (51人)	■実施日 ：2月3日、4日、10日、18日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容 ：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験（児童・保護者）、点訳体験
	5年生 (57人)	■実施日 ：5月30日、6月3日、12日、20日、25日 ■主な協力者 ：保護者、日の里地区シニアクラブ(8.9丁目) ■主な内容 ：宗像市・日の里地区の現況、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、地域の方(シニアクラブ)へインタビュー活動、車いす体験
日の里東小学校	3年生 (65人)	■実施日 ：10月29日、11月6日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：リモートによる聴覚障害者との交流・質疑応答・手話体験
	4年生 (42人)	■実施日 ：2月3日、4日、10日、18日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、

		点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(児童・保護者)、点訳体験
	5年生 (49人)	■実施日：5月30日、6月5日、11日、20日25日 ■主な協力者：保護者、日の里地区シニアクラブ(2.3.5.6丁目) ■主な内容：宗像市・日の里地区の現況、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、地域の方(シニアクラブ)へインタビュー活動、車いす体験
河東小学校	3年生 (131人)	■実施日：11月15日 ■主な協力者：聴覚障がい者、手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：DVDを活用した導入学習・リモートによる聴覚障害者との交流・質疑応答・手話体験
	4年生 (117人)	■実施日：1月29日、31日、2月12日、14日、26日 ■主な協力者：視覚障がい者、点訳ボランティア「てんとうむし」、ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(DVD活用/学校対応)・点訳体験・視覚障がい者との交流会
	5年生 (138人)	■実施日：7月4日、10日 ■主な内容：車椅子体験学習(車椅子の理解、支援の仕方の学習)
河東西小学校	3年生 (100人)	■実施日：1月17日、2月10日 ■主な協力者：聴覚障がい者、手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：DVDを活用した導入学習・リモートによる聴覚障害者との交流・質疑応答
	4年生 (111人)	■実施日：1月20日、28日、2月20日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」 点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(DVD活用/学校対応)、点訳体験(DVD活用/学校対応)、視覚障がい者との交流会
玄海小学校	3年生 (12人)	■実施日：2月21日 ■主な協力者：聴覚障がい者、玄海手話サークルゆび
	4年生 (12人)	■主な内容：聴覚障がい者との交流
玄海東小学校	3年生 (19人)	■実施日：2月20日 ■主な協力者：聴覚障がい者、玄海手話サークルゆび ■主な内容：聴覚障がい者との交流
	4年生 (17人)	■実施日：2月18日、2月25日、2月28日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流会
日の里中学校	1年生 (104人)	■実施日：10月29日、11月12日、12月3日、13日 ■主な協力者：日の里地区シニアクラブ、日の里地区民生委員児童委員協議会、日の里地区福祉会、日の里地域包括支援センター ■主な内容：地域の高齢者の活動と現状、高齢者を支える社会の仕組み“介護保険制度”と“地域支え合い活動”、認知症についての理解(寸劇・ロールプレイ)
大島学園	5年生 (4人)	■実施日：3月14日 ■主な協力者：社協大島支所職員
	6年生 (4人)	■主な内容：高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、大島の高齢者の現状についての講話
東海大学附属福岡高等学校	1年生 (385人)	■実施日：1月30日 ■主な内容：認知症サポーター養成講座

東海大学付属 福岡高等学校	2 年生 (379 人)	■実施日：10 月 31 日 ■主な内容：認知症サポーター養成講座
------------------	-----------------	--------------------------------------

③福祉教育推進校連絡会の実施

■事業説明：「福祉教育推進事業実施要綱」により、指定を受けた保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校で構成する福祉教育推進校（園）連絡会を 2 回開催している。

実施事業	実施日時	主な内容
第 1 回連絡会	■令和 6 年 6 月 26 日 ■メイトム宗像 202 会議室	■報告・連絡事項 ・福祉教育のご案内 →福祉教育の申込等説明 ・各校（園）の福祉教育の取り組みの報告 ・宗像市福祉教育セミナーの開催について ・福祉教育読本「ともに生きる」の活用と読后感想文コンクールの案内 ・福祉絵画コンクールについて ・認知症サポーター養成講座受講について ・ジュニアボランティアスクール開催について
第 2 回連絡会	■令和 7 年 2 月 25 日	・福祉教育推進事業に係る報告書類の事務手続きについて ・おもちゃ図書館について ・東郷小学校 4 年生 福祉教育実践報告について ・福祉教育実施についてのお願い ・日の里中学校の居場所「SPREAD」について

④福祉教育読本「ともに生きる」の配布と活用の推進

■事業説明：市内の小学 5 年生を対象に福祉読本および教材「ともに生きる」を配付し、読后感想文を募集して、優秀な感想文を表彰した。また、作品集「ともだち」を作成し、本会ホームページにて公開した。

■活動内容：受賞者に記念品及び参加賞を贈呈した。

■対象児童：市内全小学校 5 年生

■応募数：91 作品（15 校）

■作品展示：11 月 21 日～12 月 4 日 メイトム宗像 1 階 健診室廊下側壁面

■作品集発行：作品集「ともだち」配付先：全受賞児童、市内の保育園・幼稚園、小・中・高等学校および市教育長、市民図書館等、計 120 部

⑤福祉絵画コンクールの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）等の子どもたちとその保護者に、福祉への関心を高めてもらうため「思いやり・優しさ」をテーマに絵画コンクールを実施。

■活動内容：受賞者に記念品及び参加賞を贈呈した。

■応募対象：市内全保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童生徒

■作品展示：11 月 21 日～12 月 4 日 メイトム宗像 1 階 健診室廊下側壁面

■作品集発行：作品集「ともだち」配付先：全受賞児童、市内の保育園・幼稚園、小・中・高等学校および市教育長、市民図書館等、計 120 部

参加作品総数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	518 作品	513 作品	434 作品

（２）社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

■事業説明：将来、社会福祉の専門職又は専門資格を取得することを目的として、社会福祉の現場（本会）で実習を希望する者の受け入れを福祉教育の一環として行っている。

実習生	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
-----	---------	---------	---------

受入実績	■F・Cフチガミ医療福祉専門学校 1人 ■筑紫女学園大学 1人 期間:8月9日～9月14日 (実質24日間) ■西南女学院大学 1人 期間:8月10日～9月14日 (実質24日間)	■F・Cフチガミ医療福祉専門学校 2人 ■西南女学院大学 1人 期間:8月10日～9月15日 (実質24日間) ■西南女学院大学 1人 期間:2月13日～2月22日 (実質8日間)	■F・Cフチガミ医療福祉専門学校 2人 ■西南女学院大学 1人 期間:8月13日～9月13日 (実質24日間) ■西南女学院大学 1人 期間:2月12日～2月21日 (実質8日間)
------	---	---	---

(3) 宗像市福祉教育セミナーの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）の教職員及び地域福祉の推進に関わる人に、福祉教育への理解と地域福祉への参画を推進するため、平成17年度から標記セミナーを開催している。

■事業内容：【テーマ】福祉のまちづくり～子どもと高齢者のつながりの場～

- ・日時 令和6年8月6日(火)10:00～11:30
- ・会場 メイトム宗像 多目的ホール
- ・講師 福岡県立大学 村山浩一郎 教授
- ・実践報告 自由ヶ丘子ども教室「自由ヶ丘寺子屋」
日の里中学校の居場所「SPREAD」

■参加者数：

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者数	73人 (内15人オンライン)	86人	127人

10 活動財源の確保

(1) 共同募金・宗像市社協自動販売機の設置

■事業説明：社協自動販売機で飲料水等を購入した場合に、本会等に寄付が行われる「寄付つき商品型自動販売機」の設置を推進した。

■設置状況：設置台数 計17台

実績額	項目／年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	手数料収入	578,744円	531,130円	455,958円

(2) 香典返し・一般寄付等の高額寄付者への感謝状の贈呈と初盆参りの実施

■事業説明：香典返しの寄付と一般の寄付などの受け入れを行っている。30,000円以上の寄付者に感謝状を贈呈。

	項目／年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業実績	感謝状贈呈数	10件	10件	12件
	香典返寄付金	60件 (1,554,000円)	53件 (1,015,000円)	38件 (998,412円)
	一般寄付金	4件 (69,512円)	8件 (2,230,777円)	5件 (85,801円)
	計	64件 (1,623,512円)	61件 (3,245,777円)	43件 (1,084,213円)

(3) ファンドレイジング（資金調達）に関する事業の実施

①福祉機器貸出の有料化

- 貸与品：車イス（自走式・介助式）
- 対象者：高齢者及び傷病者の介護など、一時的に車イスを必要とする人
- 料金等：運営協力費として1回 500 円
- 期 間：1～30 日間（原則として1回1ヵ月以内。ただし、更新2回まで可）
- 事業説明：高齢者及び障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸し出しを行った。

事業実績	項目／年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	延べ利用件数	217 件	238 件	256 件
	運営協力費	108,500 円	119,000 円	128,000 円

11 ボランティア活動・市民活動の促進

(1) ボランティアセンター事業の適切な運営

ボランティア登録事業実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度
ボランティア登録	提供個人	16 件	35 件	11 件
	提供団体	3 件	3 件	5 件
	依頼個人	3 件	3 件	3 件
	依頼団体	12 件	11 件	15 件
	依頼申込個人	137 件	123 件	72 件
	依頼申込団体	44 件	170 件	212 件
ボランティア活動状況	件 数	248 件	253 件	257 件
	活動人数	1,399 人	1,450 人	1,775 人
	調整数	823 件	841 件	707 件
HP アクセス数	アクセス件数	2,493 件	7,702 件	10,424 件
センター利用状況	窓 口	1,281 件	1,298 件	1,451 件
	電 話	1,273 件	1,230 件	950 件
	合 計	2,550 件	2,528 件	2,401 件

■ボランティア活動分野別登録状況

	福祉	保健 医療	環境	観光	国際 交流	まちづ くり	子ども	学習	合計
個人 (人)	493	89	123	124	87	110	210	115	1,351
	36%	7%	9%	9%	6%	8%	16%	9%	100%
団体 (団体)	65	6	8	7	7	11	16	8	128
	51%	5%	6%	5%	5%	9%	13%	6%	100%

※ボランティア活動分野別登録状況は、V-net 開設時（平成14年3月）からの累計。

■むなかたボランティアシステム利用状況

むなかたボランティアシステム実績		令和5年度	令和6年度
システム活動状況	依頼件数	41 件	68 件
	依頼人数	331 人	608 人
	活動件数	38 件	60 件
	活動人数	158 人	353 人

	登録団体数	26 団体	43 団体
--	-------	-------	-------

むなかたボランティアシステムは令和 5 年 10 月より運用スタート

②広報・啓発事業

- 事業説明：ボランティア活動の促進を目的として、主に市内のボランティア及びボランティア活動の募集などの情報を宗像市ボランティアセンターInstagram、公式 LINE を活用して随時配信している。

実績		令和 6 年度
Instagram	フォロワー	920 人
	投稿数	252 件
公式 LINE	お友だち数	399 人
	配信数	63 件

Instagram フォロワー、投稿数、公式 LINE お友だち数は令和 6 年度から累計

(2) ボランティア講座の開催

①ボランティア入門講座

- 事業説明：ボランティア活動を始めたい人、始めて間もない人、ボランティア活動及びこの講座に関心のある人を対象に開催した。
- 事業内容：福津市未来共創センター・キッカケラボ・ディレクター中村 義輝氏を講師に招き「これから地域とのつながりを持ちたい方へのきっかけづくり」をメインテーマにボランティア、市民活動、コミュニティ活動について、グループワークを交え、詳しく楽しく学んでもらった。講座には、新たな取り組み「むなかたボランティアシステム」の案内、はじめの一步としての「ボランティア体験プログラム」の紹介、市民学習ネットワークの紹介、宗像ユリックス文化講座等紹介をし、ボランティア活動だけでなく、地域とのつながり方は沢山あり、行先は自由だと気づいてもらう幅広い選択の機会とした。
- 実施日時：令和 7 年 2 月 15 日（土）9：30～12：00
- 実施場所：メイトム宗像 結工房
- 講師：福津市未来共創センターキッカケラボ ディレクター中村 義輝氏

参加者数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	25 人	36 人	26 人

②ジュニアボランティアスクール

- 事業説明：小学生・中学生対象の福祉教育拡大・発展型のボランティア体験学習を、夏休み期間中に「ジュニアボランティアスクール」として実施している。
今回は、『ジュニボラプレゼンツ～わくわくオレンジカフェ～』をテーマに、2 日半に渡って開催した。オレンジカフェでは、福祉ボランティア「にじいろぼけっと」に協力を仰ぎ、障がいがある人、ない人、認知症の人、そうでない人も共に楽しめるように、「障がい」「高齢者」「認知症」について考え、理解を深めながら、みんな一緒に楽しめるオリジナルティあふれるオレンジカフェを企画、開催した。
誰もが安心して暮らす社会になるために、今の自分にできる事を考え、可能な範囲で自分自身の役割を見つけ、実行できることを目標とし、講座参加者全員を「こども福祉員」に任命した。

- 実施場所：メイトム宗像内 会議室他

実施時期	内容
7 月 23 日(火)	☐ 開講式・オリエンテーション・アイスブレイク ☐ 認知症についての学習

	☐ 車いす体験 ・車いすの操作方法・適切なサポートについて学ぶ ・車いすで館内のチェックポイントを周りながらカフェの案内 ☐ ジュニボラわくわくオレンジカフェ開催に向けて① ・オレンジカフェの体験・準備 ☐ ふりかえり学習
7月24日(水)	☐ 朝の会 ☐ ジュニボラわくわくオレンジカフェ開催に向けて② ・みんなで楽しめるレクリエーションを考える ・準備、最終確認 ☐ ジュニボラわくわくオレンジカフェ開催 ☐ ふりかえり学習
7月25日(木)	☐ 朝の会 ☐ グループワーク・ジュニボラプレスづくり、発表 ☐ 子ども福祉員任命式

協力団体：福祉ボランティア にじいろぼけっと

参加者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	14人	11人	23人

(3) ボランティア活動との連携・支援強化

■事業説明：福祉ボランティア活動連絡協議会の役員会・運営委員会への参加・助言。自主研修会、総会などについて助言・指導。各ボランティアグループへの個別指導・助言。福祉教育現場での参加支援。行政や各施設で行われるイベントへの参加支援。現在、11団体が所属している。

■活動支援の内容

実施事業	実施時期	主な活動内容
定期総会	令和6年 4月	総会：4月24日実施
運営推進委員会	月1回	毎月1回開催の定例会議
連絡会	月1回	毎月第1水曜：午後開催
役員研修	5月18日	中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第41回大会 場所：福岡県立社会教育総合センター 参加人数：4人
全体研修	8月20日	テーマ：音楽療法と脳の機能アップ運動 講師：西日本医療福祉総合センター 鶴田弥生氏 場所：メイトム宗像多目的ホール 参加人数：34人
記念事業	10月27日	福祉ボランティア活動連絡協議会40周年記念事業 40周年いっしょに集まって楽しもう！ ～元気よく夢にチャレンジ～ ■場所：メイトム宗像・多目的ホール ■参加人数：75人 ■アイリッシュ系音楽ユニット森和田コンサート ■夢実現アドバイザー櫻たかこさんによる講演会

		■会員相互交流会
参加・協力	2月16日	ふくおか「きずな」フェスティバルへの参加・協力 ■場所：クローバープラザ（春日市） ■参加人数：15人 ■基調講演 楽しい助け合い活動！ボランティア地域活動のすすめ！ ～生きがい・やりがい・楽しさ・自分発見の生き方探し～ 講師：ふくしと教育の実践研究所 SOLA 新崎 国広 氏 ■テーマ別分科会 ■親子“きずな”イベント
参加・協力	随時	■随時：福祉教育・オレンジカフェの協力 ■7月23、24日ジュニアボランティアスクール・オレンジカフェへの参加・協力（にじいろぽけっと） ■8月6日福祉教育セミナー「福祉のまちづくり～子どもと高齢者のつながりの場～」参加・協力
広報活動	4月と9月	ボラ連だより「あ・し・た」の発行（第13号・14号）
	随時	活動紹介チラシ配布

■宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会へ活動費補助金の交付及び活動支援

補助金交付額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	450,000円	510,000円	510,000円

②ボランティア保険加入補助

■事業説明：V-netに登録している個人、団体ボランティア、福祉会のボランティアなどがボランティア活動保険に加入した際に、その保険料一人当たり175円を補助した。

合計補助金額	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	210,000円	245,000円	245,000円

③ボランティア活動振興基金積立事業

■事業説明：福祉ボランティア活動振興基金の基金果実を含め、福祉ボランティア活動連絡協議会に助成した。

実績額	項目／年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	助成金額	10,000円	10,000円	10,000円

12 赤い羽根共同募金運動への協力

(1) 共同募金への協力

■組織体制

福岡県共同募金会の支部組織「福岡県共同募金会宗像市支会」として、理事会を開催。当該年度の募金目標額及び募金活動の議事について審議、決定した。理事は、地区自治会長会代表 12 人、民生委員・児童委員協議会会長 1 人、商工会 1 人、シニアクラブ連合会会長 1 人、市執行部（健康福祉部長）1 人、識見を有する者 1 人（社会福祉協議会会長）により構成されている。

■福岡県共同募金会宗像市支会

「福岡県共同募金会宗像市支会」（事務局：社会福祉協議会）として、募金活動を行った。

■募金方法と募金実績額

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日までの間で募金活動を実施。

年度実績		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
項目	■戸別募金	9,301,620 円	8,759,291 円	8,294,712 円
	■街頭募金	135,755 円	191,462 円	158,594 円
	■学校募金	94,235 円	157,183 円	124,240 円
	■職域募金及び資材を活用した募金	616,467 円	611,618 円	567,609 円
	■イベント募金	79,069 円	94,315 円	74,814 円
	■個人募金、その他	270,893 円	277,688 円	160,399 円
	実績額合計	10,498,039 円	10,091,557 円	9,380,368 円

■配分実績

募金実績額に対する福岡県共同募金会から宗像市支会への配分先と配分金額

	配分先	配分金額
■地域配分（B 枠） 福岡県共同募金会から宗像市社会福祉協議会に対し、申請に基づいて配分される。本会の理事会・評議員会で承認された地域福祉活動を行うための事業費。	高齢者福祉に	840,000 円
	児童・青少年福祉に	262,000 円
	障がい児・者福祉に	1,557,000 円
	子育て支援活動に	215,000 円
	ボランティア活動に	534,000 円
	福祉会活動の支援に	2,656,000 円
	情報提供・啓発活動に	750,000 円

(2) 歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分（再掲）

※7 低所得者福祉事業の推進（2）歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分を参照（P30）。

13 障害者生活支援センター運営事業

■宗像市委託事業

(1) 障害者生活支援センター事業

■事業説明：基幹相談支援センターとして、市における相談支援の中核的な役割を担うとともに、宗像市に居住する障がい者に対し、障がい福祉サービスの利用促進、および各種情報の提供、相談・助言等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■事業内容：○基幹相談支援センターの充実
 ○自立支援協議会の充実
 ○地域の相談支援体制の強化
 ○地域移行・地域定着支援の推進

- 障害者虐待防止センターの充実
- 成年後見制度の利用促進
- 障害者団体の組織化と自立支援
- ピアサポート機能の充実・強化
- 登録手話通訳者等派遣事業の充実
- 障害者差別解消法の啓発に関する取り組み

■職員体制：○センター長 1人

○相談員 3人

○ピアカウンセラー 3人

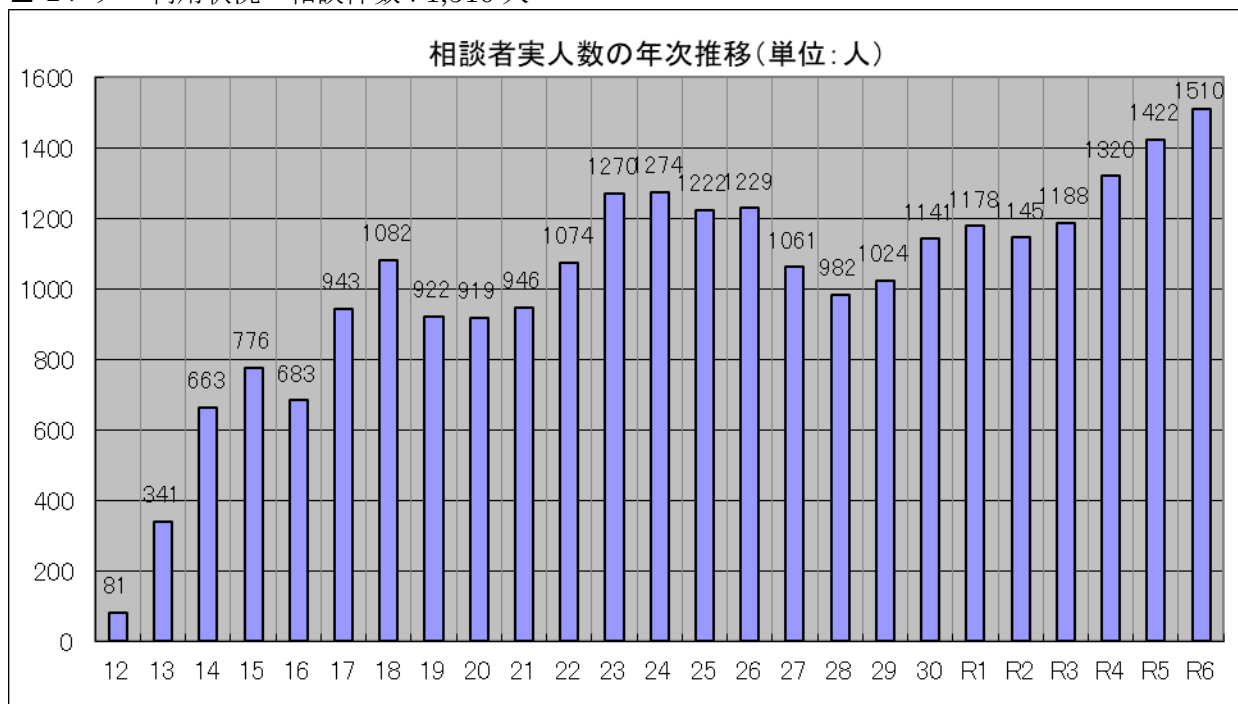
■開所日時：①月・火・水・木・金曜日（8時30分～17時）

※土・日曜日・国民の祝日・年末年始は定休日

②ピアカウンセリング（10時～15時）

※水曜日（第1、3）

■センター利用状況・相談件数：1,510人



■相談実績件数①（区分別）

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	訪問系サービスの利用に関すること	352	349	399
2	通所系（就労以外）サービスの利用に関すること	220	275	225
3	入所系サービスの利用に関すること	391	378	425
4	外出系サービスの利用に関すること	82	81	91
5	就労系サービスの利用に関すること	582	518	630
6	日常生活用具・補装具に関すること	39	26	31
7	地域移行支援・地域定着支援に関すること	5	5	21
8	児発・放デイ・保育所等訪問支援の利用に関すること	409	457	583
9	計画相談支援に関すること	1,009	948	1,101
10	手話・代筆・点字等のコミュニケーションに関すること	35	34	43
11	医療的なケアが必要な支援に関すること	53	31	64

12	年金・手帳・自立支援医療等に関すること	89	102	117
13	介護保険制度等に関すること	159	239	186
14	権利擁護・成年後見制度等に関すること	31	26	51
15	虐待・虐待予防等に関すること	114	207	159
16	災害時・緊急時の支援に関すること	2	4	9
17	障害者差別・合理的配慮に関すること	8	3	9
18	家族関係・対人関係に関すること	579	643	534
19	障がいや病状の理解、ひきこもりに関すること	89	92	172
20	健康・医療に関すること	847	1,034	837
21	保育・教育、子育てに関すること	409	561	566
22	家計・経済的な生活困窮に関すること	151	198	133
23	金銭管理に関すること	170	162	93
24	社会参加・余暇活動に関すること	24	22	33
25	住居に関すること	163	129	122
26	犯罪行為、触法、法律に関すること	45	58	54
27	ピアカウンセリングに関すること	3	2	1
28	専門機関等の紹介に関すること	45	31	37
29	生活・福祉等の情報提供に関すること	402	424	415
30	その他必要な生活支援に関すること	931	1,021	863
計		7,438	8,060	8,004

■相談実績件数②（相談方法別）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①来 所	1,621	1,763	1,681
②電 話	3,717	4,026	3,910
③文書（メール等）	37	41	47
④訪 問	363	383	418
⑤同 行	161	182	131
⑥担当者会議	357	335	345
⑦個別支援会議	203	181	93
⑧関係者会議	979	1,149	1,379
計	7,438	8,060	8,004

■障がい種別件数①（障がい者）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①肢体不自由	544	393	584
②聴覚障がい	50	403	128
③言語障がい	20	0	0
④視覚障がい	107	212	134
⑤内部障がい	49	42	44
⑥発達障がい	360	523	388
⑦高次脳機能障がい	147	199	68
⑧知的障がい	1,220	1,449	989
⑨精神障がい	2,918	2,577	2,530

⑩難病	111	87	298
⑪重複障がい	28	56	215
⑫不 明	238	204	173
⑬な し	60	46	67
計	5,852	6,191	5,618

■障がい種別件数②（障がい児）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①肢体不自由	56	120	137
②聴覚障がい	1	8	9
③言語障がい	0	0	0
④視覚障がい	0	0	0
⑤内部障がい	40	11	36
⑥発達障がい	877	838	1,013
⑦高次脳機能障がい	0	0	8
⑧知的障がい	239	192	288
⑨精神障がい	0	37	15
⑩難病	85	88	100
⑪重複障がい	43	148	260
⑫不 明	199	404	492
⑬な し	46	23	28
計	1,586	1,869	2,386

（2）障害者生活支援センター主催事業

①ピアサポート事業

■事業説明：ピアサポーターと利用者が事業を通じた交流により、身近な相談相手としての周知を行うとともに、当事者間のネットワークを構築することを目的としてピアサポート事業を実施。

■参加費：無料（実費負担あり）

■実施内容

実施日	内容	参加人数	場所
7月21日	『ゆったり茶話会～演奏会～』	8	メイトム宗像
12月8日	『ゆったり茶話会～松ぼっくりでクリスマスツリー作り～』	5	河東コミュニティ・センター
3月23日	『ゆったり茶話会～押し花で葉作り～』	4	メイトム宗像

（3）障害者生活支援センターのその他の関連事業

■会議や研修への参加・協力

会議・研修名	実施時期
宗像市障害者自立支援協議会 全体会	6月11日、7月24日
宗像市障害者自立支援協議会 就労部会	11月18日、1月29日、3月13日
宗像市障害者自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会	9月30日、10月9日
宗像市精神障がい者支援連携会議	10月9日
宗像市障害者自立支援協議会子ども部会	5月9日、6月19日、8月21日、

	9月11日、10月24日、1月23日
宗像市医療的ケア児者支援連携会議	6月13日、11月7日
権利擁護部会	3月3日
宗像市障害者自立支援協議会 ネットワーク会議 (障がい児含む)	5月16日、9月27日
障害者自立支援協議会事務局会議	12回実施
要対協子ども支援連携会議	5月1日、15日、6月5日、7月3日、 17日、8月7日、9月4日、10月9日、 23日、11月6日、20日、12月4日、 18日、1月15日、2月5日、19日、3 月5日
子ども支援連携会議 (SSW)	5月8日、22日、6月12日、26日、 7月10日、24日、8月28日、10月16 日、11月13日、27日、12月11日、1 月8日、22日、2月12日
宗像市相談支援機関相談員会議	6月24日、10月29日
成年後見制度利用促進研修会	7月5日
宗像市要保護児童対策協議会代表者会議	8月1日
ひきこもり支援者研修会	7月3日
福岡県知的障がい者相談員研修会	8月16日
地域自立支援協議会担当者会議	9月2日、12月16日
福岡県身体障がい者相談員研修会	9月6日
福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	7月31日
宗像・遠賀地域精神障がい者地域支援実務者会議	9月13日
宗像市成年後見ネットワーク会議	10月17日
障害者差別解消支援地域協議会に係る体制整備・強化及び相 談対応力向上ブロック研修会	7月26日
市町村配置医療的ケア児等コーディネーター連絡会	8月5日、1月30日
主任相談支援専門員養成研修 (九州ブロック)	9月24日～26日
集団指導	9月25日
むなかた福祉マルシェ	10月26日
福岡県小児等在宅医療推進事業事例検討会	11月20日
退院後生活環境相談員による支援の質の向上に向けたモデル 研修 (福岡県)	12月1日
宗像市障がい者虐待防止研修会	12月2日～23日
障がい者虐待防止対応事例検討会 (養護者による虐待)	12月19日
重層的支援支援体制整備事業支援調整会議	12月26日、1月23日、2月27日、 3月27日
6者発達支援連絡会議	1月6日
宗像市社会福祉協議会 障がい者虐待防止委員会	1月22日
障がい者虐待防止センターネットワーク会議	1月22日
生きづらさを抱える方の理解と支援	1月30日
厚生労働省障害者地域生活支援体制整備事業	1月31日
福岡県障がい者差別解消相談に係る情報交換研修会	1月31日
福岡県地域連絡協議会	2月7日
子ども・子育て支援等推進調査研究事業「医療的ケア児支援 センターの機能強化等に関する調査研究」『医療的ケア児等 への支援体制の強化に向けた全国研修』	2月21日

(4) 宗像市登録手話通訳者等派遣事業

■事業説明：聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため他者との意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に対し、市が登録した手話通訳者または要約筆記者を派遣し、意思疎通の円滑化を図ることを目的に事業を実施。

■派遣申請者数（人数）

派遣申請者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	27	30	15

■内容（件数）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①手続・相談	6	4	2
②教育	0	0	0
③医療・保健	21	26	13
④就職活動	0	0	0
⑤その他	0	0	0
計	27	30	15

■区分（件数）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①手話通訳等	27	30	15
②要約筆記等	0	0	0
計	27	30	15

(5) 宗像市障害者虐待防止センター事業

①宗像市障害者虐待防止センター事業実績報告

■事業説明：「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により平成24年度から宗像市の委託事業として受託。障がい者虐待の早期発見と発生防止ならびに障がい者虐待が起きないように個々のケース対応を充実するとともに、市民や障がい福祉サービス事業者への周知が主な役割。

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①通報受理	3件	7件	7件
②事実確認実施	6件	20件	10件
③虐待と判断	1件	3件	0件
④相談・指導・助言	6件	2件	1件
⑤実人数	3人	7人	7人

②家庭訪問等個別支援事業

■障がい者虐待の未然防止のため、過去に虐待があった障がい者の家庭等を訪問し家族関係の修復や不安の解消に向けた支援を行う。

■家庭訪問件数：0件

■人数：0人

③宗像市障害者虐待防止研修会の実施

■事業説明：障がい者虐待防止や早期発見、適切な支援につなげるため、市内の障がい福祉事業所を対象に、障がい者虐待防止及び権利擁護への理解を深める研修を実施した。

■動画配信期間：令和6年12月2日から23日まで

■申し込み事業所数：54事業所

■テーマ：「障がい者虐待防止体制の構築～無自覚な不適切行為の理解と対応策の検討～」

■講師：福岡県立大学人間社会学部 准教授 寺島 正博 氏

14 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

(1) 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業（宗像市指定管理業務）

■事業説明：大島福祉センター「ふれ愛センター」の指定管理を受け、社会福祉協議会が施設を管理・運営している。

■大島福祉センター「ふれ愛センター」年間利用者集計表

	高齢者	一般	中学生以下	島外	計	対前年比較
令和6年度	1,579人	89人	9人	88人	1,765人	-570人
令和5年度	2,006人	128人	71人	130人	2,335人	445人
令和4年度	1,678人	125人	21人	66人	1,890人	

■利用施設別延べ利用者数

	1階ホール	1階会議室	2階会議室	いこいの部屋	調理実習室	計	対前年比較
令和6年度	1,673人	1,636人	0人	0人	13人	3,322人	-1,032人
令和5年度	2,227人	2,115人	0人	5人	7人	4,354人	816人
令和4年度	1,762人	1,750人	3人	23人	0人	3,538人	

■施設利用料金実績及び施設稼働日数

	稼働日数 (日)	1階ホール (円)	1階会議室 (円)	2階会議室 (円)	調理実習室 (円)	計 (円)	対前年比較 (円)
令和6年度	250	8,080	7,310	0	970	16,360	-8,470
令和5年度	248	15,700	4,880	0	4,250	24,830	15,570
令和4年度	248	6,150	3,110	0	0	9,260	

(2) いきがい活動通所事業（大島ミニデイサービス：宗像市指定管理業務）

■事業説明：虚弱高齢者及び単身高齢者などを対象に、生きがいつくりと心身機能の維持向上を図るため、食事・入浴・レクリエーション等の活動を行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	1,577人	1,687人	1,384人
	対前年比較	110人	-303人

(3) 配食サービス（市委託事業）

■事業説明：「食」に課題のある高齢者等を対象に、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、見守りを行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	1,075人	1,093人	1,109人
	対前年比較	18人	16人

15 指定介護保険事業の適切な運営

(1) 訪問介護事業

■事業説明：福岡県指定の訪問介護事業所として、訪問介護計画に基づく訪問介護サービスの提供を行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数	543人	534人	593人
	対前年比較	-9人	59人

(単位：人)

要介護度別 延べ利用者数	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計	対 前 年 比 較
令和 6 年度	380	80	44	47	42	593	59
令和 5 年度	295	92	47	56	44	534	-9
令和 4 年度	269	118	43	73	40	543	

要介護に占める 要介護 1・2 の割合	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	71.3%	72.5%	77.5%

(2) 従前相当訪問サービス・訪問型サービス A 居宅介護支援事業

■事業説明：宗像市指定の介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号訪問事業所として、訪問介護サービスを行う。

利用者数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
要支援 1	74 人	78 人	88 人
要支援 2	188 人	250 人	329 人
サービス A	72 人	23 人	13 人
計	334 人	351 人	430 人
	対前年比較	17 人	79 人

※従前相当訪問サービス：総合事業における、要支援者向けの介護予防を目的とした支援のこと。総合事業が創設される以前の訪問介護に相当するサービス。

(3) 居宅介護支援事業

■事業説明：介護保険利用者の立場に立ち、居宅介護支援サービスの作成・管理・更新等を行い、個々の利用者に最適な介護サービスの提供を行う。

(介護予防支援事業含む。単位：人)

要介護度別 延べ利用者数	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計	対 前 年 比 較
令和 6 年度	0	0	663	383	287	159	51	1,543	58
令和 5 年度	0	0	541	397	313	162	72	1,485	-74
令和 4 年度	0	0	563	489	206	168	79	1,559	

(4) その他の事業

ホームヘルパーステーション

①新型コロナウイルス・インフルエンザ等感染症拡大防止対策の徹底

- 感染症編事業継続計画に基づき感染拡大防止施策の実施
- ・感染症編事業継続計画に基づき職員研修や職員委員会の開催

②経営改善計画の実践

- 経営改善計画による経営改善施策
- 県市の高齢者施設等物価高騰対策支援金等の給付を申請
- 働き方改革等による「賃金」や「手当」「休暇」等の改善
- 新たに処遇改善支援補助金制度（令和 6 年 2～6 月）を申請

③法令遵守に関する取り組み

- 介護保険法及び障害者総合支援法による変更届
- ・電子申請届出システムによる役職員の異動等にもなう変更届の提出
- 集団指導への参加
- 「居宅介護・同行援護」事業の運営（実地）指導

- ・運営（実地）指導に基づく業務改善

■令和6年度介護報酬等改正への対応

- ・自然災害編と感染症編の事業継続計画（BCP）の見直し
- ・職員研修、職員委員会の開催。備蓄品の確保。

■「衛生管理等に関する指針」「虐待防止（身体拘束）の指針」に基づき職員委員会や職員研修を開催

■第3者委員会の開催

第3者委員へ主に前年度の苦情等の状況について報告

④職員研修の実施

■特定事業所加算の取得条件である各種研修を研修計画に基づき実施

居宅介護支援センター

①新型コロナ・インフルエンザ等感染症拡大防止対策の徹底

■感染症編事業継続計画に基づき感染拡大防止施策の実施

②経営改善計画の実践

■経営改善計画による経営改善のため介護支援専門員を1名増員

■市の高齢者施設等物価高騰対策支援金等の給付を申請

■働き方改革等による「賃金」や「手当」「休暇」等の改善

③法令遵守に関する取り組み

■介護保険法による変更届

- ・電子申請届出システムによる役職員の異動等にもなう変更届の提出

■集団指導への参加

■令和6年度介護報酬等改正への対応

- ・自然災害編と感染症編の事業継続計画（BCP）の見直し
- ・職員研修、職員委員会の開催。備蓄品の確保。

■「虐待防止（身体拘束）の指針」に基づき職員委員会や職員研修を開催

■第3者委員会の開催

第3者委員へ主に前年度の苦情等の状況について報告

④職員研修の実施

■特定事業所加算の取得条件である各種研修を研修計画に基づき実施

16 指定障害福祉サービス事業の適切な運営

（1）居宅介護事業・同行援護事業

■事業説明：障がいのある人の介護、家事の支援や視覚障がい者の外出支援を行う。

利用者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	155人	172人	136人
	対前年比較	17人	-36人

（2）障害者総合支援法による地域生活支援事業（移動支援）

■事業説明：障がいのある人の外出支援を行う。現在、宗像市・福津市・岡垣町の指定を受けている。

利用者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	51人	54人	11人
	対前年比較	3人	-43人

17 市受託事業の適切な運営

(1) 要介護認定調査業務

■事業説明：市からの委託を受けて、要介護認定調査を行う。

要介護認定 調査件数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,336 件	1,359 件	1,454 件
	対前年比較	23 件	95 件

(2) ひとり親家庭等日常生活支援事業

■事業説明：一人親家庭で特別な事情により支援員による家事支援が必要な世帯に家事支援活動を行う。

利用者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	0 人	0 人	0 人
	対前年比較	0 人	0 人

(3) 養育環境改善育児家事支援事業

■事業説明：児童虐待（ネグレクト）等により、子どもの養育環境に問題がある世帯に対して支援員による家事支援活動を行う。

利用者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	4 人	13 人	24 人
	対前年比較	9 人	11 人

18 スマイルハート事業

(1) スマイルハート事業

■事業説明：介護保険適応外の家事援助サービス及び身体介護サービスを提供し、在宅での自立支援を行う。

延べ利用者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	274 人	259 人	222 人
	対前年比較	-15 人	-37 人

19 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■宗像市委託事業

(1) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

- 事業種別 ①児童発達支援センター、保育所等訪問支援【療育関係業務】
②障害児相談支援事業【計画相談支援関係業務】
- 事業説明 ①児童発達支援センター
児童発達支援とは、障がい児通所支援の一つで、就学前の児童を対象に、発達に支援が必要な児童が通い、療育支援サービス等を受けるための施設です。遊びや学びの体験等を通して日常生活の自立支援や機能訓練などを行います。
また、令和6年6月に制度上の位置づけが「児童発達支援センター」に変更指定され、幅広い高度な専門性に基づく支援、地域の通所支援事業所との連携支援、インクルージョンの推進、発達相談の入り口としての機能など、その役割が広がっている。保育所等訪問支援では、訪問先施設の意向、困りごと等を受け止め、発達段階や特性を踏まえた関わり方や環境等について助言する。
実施主体は宗像市で、社会福祉協議会が受託・運営している。
- ②障害児相談支援事業
障がい児相談支援とは、障がい児が障がい児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービスなど）を利用する前に障がい児支援利用計画を作成し（障がい児支援利用援助）、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う（継続障がい児支援利用援助）等の支援を行う。
- 事業内容 ①個別と小集団の保育活動を中心とした総合的な療育と支援を行う。
②作業療法士による機能訓練及び感覚統合訓練、言語聴覚士によるコミュニケーション支援など利用者への直接的な支援と、子どもに関する保護者の悩みに対し、専門的なアドバイスをする間接的な相談支援を行う。
③水泳の指導を専門の指導員が週1回行う。（金曜日）
④嘱託医による医療相談を通じて、保護者及びスタッフに対し、小児神経科医の専門的なアドバイスを行う。
⑤保育所等訪問支援
- 運営体制 ①園長 1人
②管理者 1人（兼居宅介護課長）
③児童発達支援管理責任者 1人
④相談支援専門員 3人
⑤指導員 9人
⑦言語聴覚士 2人
⑧作業療法士 1人
⑨プール指導員 1人
⑩託児スタッフ 3人
⑪事務員 1人
⑫嘱託医 1人

(2) 「のぞみ園」運営事業実績

① 園児数の推移

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入園者数	27	7	9	5	5	7	7	7	4	0	0	0	78
退園者数	5	2	2	0	2	0	0	0	1	1	1	96	110
今年度登録人数	147	152	159	164	167	174	181	188	191	190	189	93	
前年度登録人数	133	135	147	157	171	181	207	217	216	216	215	127	

(月末時点)

② 月別療育日数、実績人数

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
療育日数	21	21	20	20	19	19	22	22	20	19	18	20	241 日
実績延人数	255	322	344	318	299	321	376	349	364	340	330	300	3,918 人
今年度一日 平均利用人数	12.1	15.3	17.2	15.9	15.7	16.9	17.1	15.9	18.2	17.9	18.3	15.0	16.3 人
前年度一日 平均利用人数	9.1	12.2	14.6	14.1	15.0	16.5	18.3	19.0	18.5	17.1	17.5	15.1	15.5 人

③ 保育所等訪問支援実績人数（令和7年3月末 登録者統計）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度延べ 利用人数	2	6	3	4	3	4	4	3	4	8	7	4	52 人
前年度延べ 利用人数	0	0	0	0	0	9	0	5	6	0	8	2	30 人

④ 兄弟児託児状況

■事業説明：保護者が子どもとしっかり向き合えるよう、療育、勉強会、保護者会などに参加する時間帯に兄弟児の託児を行っている。託児の利用料は、一回につき 500 円～1,000 円を徴収。

■運営体制：登録 18 人

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度託児 延べ利用人数	4	3	3	11	6	7	10	7	5	6	7	14	83 人
前年度託児 延べ利用人数	9	9	13	7	14	11	12	15	13	9	14	16	142 人

⑤ 送迎利用状況

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度送迎 延べ利用回数	43	48	57	61	55	51	74	62	56	67	57	43	674 回
前年度送迎 延べ利用回数	28	28	39	54	56	60	81	87	74	65	87	56	715 回

（３）「のぞみ園」訓練等の状況

① 言語聴覚士の関わり（週 5 回。2 人体制。個別療育・個人懇談・関係機関との連携等）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度 個別療育	80	93	106	101	97	113	120	124	112	104	109	89	1,248 人
前年度 個別療育	34	43	46	40	44	61	74	71	72	77	74	65	701 人

② 作業療法士の関わり（週 1 回程度。個別療育・個人懇談・関係機関との連携等）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度 個別療育	19	19	21	17	26	22	19	23	29	20	17	20	252 人

前年度 個別療育	9	14	18	14	21	15	22	18	18	18	20	19	206 人
-------------	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------

③保育の個別

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
今年度個別 保育実績	12	8	15	18	14	8	14	15	19	26	31	29	209 人
前年度個別 保育実績	23	31	45	36	41	40	42	47	41	27	35	28	436 人

（４）嘱託医の医療相談

③ 嘱託医の医療相談（年 10 回実施）

実施月	相談件数	実施月	相談件数
4 月	0 件	10 月	2 件
5 月	0 件	11 月	2 件
6 月	2 件	12 月	1 件
7 月	3 件	1 月	1 件
8 月	1 件	2 月	1 件
9 月	1 件	3 月	1 件
計		15 件	

（５）ぱんだルームの状況

■事業説明：宗像市乳幼児健診後のフォロー事業として、専門的な支援が必要な幼児を対象に、遊びを通して子どもの発達と子育てを支援。月に 1～2 回程度開催。

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数	0	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2	0	13
延べ 利用人数	0	0	0	0	1	10	11	10	4	12	12	0	60

（６）障害児相談支援事業所「のぞみ」の取り組み

■事業説明：障がい児相談支援とは、障がい児が障がい児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービスなど）を利用する前に障がい児支援利用計画を作成し（障がい児支援利用援助）、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う（継続障がい児支援利用援助）等の支援を行う。

単位：人

延べ利用者数 ／ 項 目	新規	更新	変更	終了	モニタ リング	計	対 前 年 比 較
令和 6 年度	127	201	48	1	381	758	-43
令和 5 年度	134	194	75	2	396	801	448
令和 4 年度	132	143	54	7	17	353	

（７）その他の取り組み

①児童発達支援事業の適正な運営について

- 「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、適正な事業運営に努めた。また、令和 6 年 4 月に改訂された報酬改定に伴い、事業所に課せられた新たな義務的な取り組みとともに、改定後の報酬体系に基づく適正な請求事務を行った。

- 義務的な取り組みとして、身体拘束の適正化及び虐待防止、「業務継続計画」の見直し、感染症対策、各種の指針・マニュアル等に基づく研修や訓練、委員会の開催などがある。さらに「支援プログラム」の策定・公表、事業所情報公表システムへの入力、アンケートに基づく自己評価と評価結果等の公表なども行った。

②のぞみ園と地域資源(民間事業所・関係機関・幼稚園・保育所・小学校)との連携

- 昨年度同様、発達支援室との連絡会や6者会議を通じて、宗像市における障がい児施策の課題等について協議し、宗像市の関係部署と共に療育事業の今後のあり方について検討した。
- 卒園児の、学校との接続支援は重要であるため、入学前後の時期を重点期間と位置付け、入学後の学校生活が円滑に行えるように、今年度も学校との情報交換を行った。
- 地域全体での発達支援の底上げを図るため、地域の保育所・幼稚園、事業所等と合同で勉強会を開催した。

③職員の資質向上に向けた研修会参加等の実施

■職員全体研修(法令研修含む)

- 7月19日 身体拘束適正化について
- 8月19～21日 スタッフを守るための暴力・ハラスメント対策について
- 9月13日 業務継続計画(感染症・自然災害)について
- 10月11日 感染症予防・衛生管理について
- 12月13日 障がい者虐待防止について
- 1月10日 感染症予防について②
- 2月7日 コンプライアンスについて

■資格取得・維持に関する研修

- 9月～10月 強度行動障がい支援者養成研修(郷、安藤)
- 10月11日～12日 児童発達支援管理責任者基礎研修(永田)
- 3月15～16日 精神障がい者支援の障がい特性と支援技法を学ぶ研修(松尾)

■技能・スキルアップ研修

- 4月26日 のぞみ園勉強会(保護者対応)
- 6月21日 のぞみ園勉強会(保育所等訪問)
- 8月23日 のぞみ園勉強会(保・幼・療育連携)
- 10月7日 若楠児童発達支援センター視察研修(常勤職員他)
- 11月15日 発達障がいのある人の支援者向け研修会(郷、吉川)
- 11月18日 のぞみ園勉強会(グループ療育)
- 11月 県障がい福祉サービス事業所等支援員研修(郷、吉川、井上未、篠原)
- 12月20日 のぞみ園勉強会(交流会)
- 2月3日 県苦情解決従事者研修会(柴田、郷)
- 2月31日 のぞみ園勉強会(ST・OTに聞きたい)
- 3月9日 九州自閉症研究協議会福岡大会(北岡、松尾、安藤)

④その他

- 5月9日 「就学相談」説明会
- 6月19日 子ども部会全体会(相談員)
- 7月4日 保護者、あゆみの会との懇談
- 9月11日 子ども部会発達支援連携会議(郷、相談員)
- 10月11日 福祉・介護職員処遇改善加算説明会
- 10月22日 保護者勉強会「育つ力と感じる力」
- 12月4日 「年長児交流会」
- 1月6日 6者会議
- 1月23日 第2回子ども部会(郷、松延、相談員)
- 2月21日 社協人権研修「ハラスメント」

事業報告書資料集

■社会福祉協議会及び宗像市社会福祉協議会の概況

1. 社会福祉協議会の位置付け

(1) 社会福祉協議会の位置づけ

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている。また、社会福祉協議会の組織構成や事業等も社会福祉法に定められており、その活動は「民間性」と極めて高い「公共性」が特徴である。

(2) 宗像市社会福祉協議会の位置づけ

本会は、前記の法的位置づけ、ならびにその特徴と事業実績により、宗像市の総合計画や各種福祉計画には、福祉行政の一翼を担い、民間の福祉活動を推進する中心的な団体として位置づけられてきた歴史がある。

(3) 宗像市社会福祉協議会の活動方針

本会の活動方針は、平成 27 年 10 月に第 3 次計画の見直しと次代に適応する社会福祉協議会活動の基本理念や実施計画等を取りまとめた第 4 次地域福祉活動計画（計画年度：平成 27～36 年度。以下「第四次計画」という。）による。第四次計画には、本会の基本的な活動方針として以下の項目を掲げている。

- ①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- ②住民自治活動としての地域福祉の推進
- ③社会的包摂にむけた生涯学習としての福祉教育の推進
- ④行政および地域福祉推進団体などの協働者としての社会福祉協議会の確立
- ⑤利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- ⑥法人経営体制の強化

2. 宗像市社会福祉協議会の経過

年 度	主な内容
昭和 34 年度	・任意団体として宗像町社会福祉協議会が発足
昭和 45 年度	・社会福祉法人として認可
～昭和 57 年度	・東部児童館事業受託 ・老人・心身障害児・身体障害者家庭奉仕員派遣事業受託 ・ボランティア育成事業開始
昭和 60 年度	・福祉ボランティア活動連絡協議会設立 ・宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書策定
昭和 61 年度	・福祉教育推進指定校事業開始
昭和 62 年度	・小地域福祉会組織化事業開始（地区福祉懇談会開始） ・障害児通園事業「のぞみ園」受託
昭和 63 年度	・宗像ユリックス内に社会福祉センター完成・本会移転 ・愛のネットワーク活動、福祉の里づくり事業開始 ・自由ヶ丘地区社会福祉会発足 ・電話訪問相談事業開始（～平成 10 年度）
平成元年度	・やさしさ宅配人（愛のネットワーク活動協力員）登録事業開始
平成 8 年度	・第一次地域福祉活動計画書策定
平成 9 年度	・在宅介護者組織化事業開始
平成 10 年度	・総合保健福祉センター「メイトム宗像」完成・本会移転
平成 12 年度	・介護保険制度の実施にともない居宅介護支援事業・訪問介護事業開始 ・要介護認定調査業務・軽度生活援助事業受託

	・ 障害者生活支援事業受託
平成 13 年度	・ ボランティアセンター事業受託 ・ 在宅介護者の会ひまわり発足、在宅介護者組織化事業から支援事業へ
平成 14 年度	・ 宗像市・玄海町社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・ (新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 15 年 3 月 31 日)
平成 15 年度	・ 玄海 4 地区に小地域福祉会の組織化
平成 16 年度	・ 宗像市・大島村社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・ (新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 17 年 3 月 31 日) ・ 第二次地域福祉活動計画書策定
平成 17 年度	・ 社会福祉協議会福祉教育推進計画書策定
平成 18 年度	・ 機能訓練 B 型 (いきいきふれあいサロン) 事業を介護予防いきいき交流会事業へ移行 ・ 障害者自立支援法による指定相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業を開始
平成 20 年度	・ 「メイトム宗像」が市民活動交流館としてリニューアル ・ 「宗像市ボランティアセンター」が市民活動ボランティア NPO センターの一部となる ・ 「のぞみ園」が発達支援センター療育施設の一部となる
平成 21 年度	・ 地域福祉の推進に関する市民の意識調査を実施 ・ 非常・災害時職員行動計画書 (平成 21 年度版) 作成 ・ 第三次地域福祉活動計画策定委員会設置
平成 22 年度	・ 第三次地域福祉活動計画書策定 ・ 第二次経営改善計画策定 ・ 市窓口ワンストップサービス化に伴い、障害者生活支援センターが宗像市役所内に移転
平成 23 年度	・ 第二次福祉教育推進計画策定 ・ 東日本大震災救援・復興ボランティアとして職員を派遣
平成 24 年度	・ 市保健福祉会館 (ゆうゆうぷらざ) の閉館に伴い本会玄海支所を廃止 ・ 障害者基幹型相談支援センター事業を受託 ・ 宗像市障害者虐待防止センター事業を受託 ・ 宗像市社協自動販売機設置開始
平成 25 年度	・ ライフサポート事業開始 ・ 認知症サポーター養成講座事業を受託
平成 26 年度	・ 福津市・古賀市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結 ・ 宗像青年会議所と災害時相互協力協定を締結
平成 27 年度	・ 第四次地域福祉活動計画書策定
平成 28 年度	・ 第三次福祉教育推進計画書策定
平成 29 年度	・ 認知症サポーター活動支援事業を受託 (オレンジカフェの展開等)
平成 30 年度	・ 宗像市社会福祉法人連絡会を設立 (事務局)
令和元年度	・ 宗像市生活支援体制整備事業 (第 1 層・第 2 層 6 圏域) を受託
令和 2 年度	・ 法人化 50 周年 (記念広報誌を発行) ・ 第四次地域福祉活動計画の見直し
令和 3 年度	・ 法人後見事業において、被後見人の支援を開始
令和 4 年度	・ 宗像市、日本赤十字九州国際看護大学、県社協連携による災害ボランティアセンター設置訓練を実施
令和 5 年度	・ 災害ボランティアセンター資機材倉庫を設置 (3 市社協合同) ・ むなかたボランティアシステムの運用開始
令和 6 年度	・ 令和 6 年 12 月、重層の支援体制整備事業を受託、宗像市役所の福祉政策課内に相談支援コーディネーターを配置 ・ 第五次地域福祉活動計画策定

■用語の説明

【あ】

ICF

ICFは、2002（平成13）年にWHOが発表した国際生活機能分類である。ICFは、人間の生活機能と障がいについて「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の三つのレベルで構成される「生活機能」としてとらえる。この三つのレベルは、「生命」「生活」「人生」と言い換えることができる。「生活機能」の三つのレベルが相互に、また「健康状態（疾患等）」や「背景因子（環境因子と個人因子）」との間で、相互作用を行うことを重視するのがICFの生活機能モデルである。

いきいきふれあいサロン

当初福祉会が行っていた「ふれあい会食会」や「楽しく食べて語ろう会」などの【ふれあい活動】に、介護予防いきいき交流会事業（市委託事業）による在宅虚弱高齢者への介護予防活動や簡単な健康チェック、機能訓練などを行う【いきいき活動】が取り入れられた事業。高齢者のとじこもり防止の要素もある。活動内容は、口腔ケアや栄養指導、運動指導などの介護予防活動と簡単な健康チェック、学習会、機能訓練（レクリエーション）、交流事業などである。また、「いきいきふれあいサロン」に参加できない（参加しない）高齢者への対応として、小地域ネットワーク活動との連携強化をすすめている。

【か】

声の広報活動

視覚に障がいがある人々へ、宗像市の広報紙などをCD-Rに録音して情報を届ける本会の障がい者福祉活動。現在「日の里テープの会」「グリーンボイス」「森林都市うぐいす」の3団体にこの活動を委託している。

【さ】

社会的包摂

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）は、「社会的排除」の問題を解決する社会政策の理念として語られる「社会的包摂」と同意語である。「排除と包摂」という概念は、古くから用いられてきたが、これらが社会政策の重要な概念として登場するのは20世紀後期のヨーロッパにおいてである。特にフランスでは、1970年代以降、社会的不適応者（薬物依存者や非行少年など）や若年長期失業者、移民労働者など、既存の福祉国家の枠組みでは対応することが困難な人々の抱える問題が「新たな貧困」や「社会的排除」などの社会問題として認識されるようになり、このような人々を社会復帰させることが、社会政策上重要だと考えられるようになった。

社会福祉法第四条

地域住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

小地域ネットワーク活動

主に民生委員と福祉会の地域ケア型ボランティア（名称は福祉委員や福祉員など様々）が協力して、単身高齢者・高齢者夫婦のみ世帯などの定期的な見守り・訪問活動、情報提供活動、できる範囲での生活援助活動などを行っている。小地域ネットワーク活動は、昭和63年に民生委員協議会創設記念事業「愛のネットワーク活動」として福岡県では開始されたが、現在では、福祉会などの日常的な「生活支援活動」として取り組まれている。

スマイルハート

宗像市社会福祉協議会独自の家事援助・軽介護サービス。障がい者や高齢者世帯等を対象に日

常生活に必要な家事援助・軽介護サービスをホームヘルパーが提供し、在宅で自立した生活ができるように支援する有償サービス。

生活困窮者世帯

厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」の報告書では、「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」が主な支援対象者として想定されているが、「地域から孤立している者」「複合的な課題を抱えている者」への対策の必要性も掲げられている。つまり、この報告書における生活困窮者とは、「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」などの生活・地域問題を抱える人々のことで、具体的には「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」や「ひきこもりの人」や「ゴミ屋敷生活している人」、「ホームレス」「生活困難を抱える精神・知的・発達障がいがある人」などと考えられる。

生活福祉資金貸付制度

低所得者（離職者）または障がい者、高齢者を対象に、小口の資金貸し付けと必要な援助・指導を行うことにより、その経済的自立および生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的とした制度。実施主体は、福岡県社会福祉協議会。

ソーシャルインクルージョン (social inclusion)

※「社会的包摂」参照

【た】

地域包括ケアシステム

「地域包括ケアシステム」とは、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のこと。

地域共生社会

厚生労働省が掲げるビジョンで、2016年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」の内容に盛り込まれた項目。地域住民や地域の多様な主体が分野や属性の壁を越えた協働を実践し、誰もが支え合う地域を創っていくことを目指す。

【な】

ノーマライゼーション

一般的には「共生社会」と訳されることが多い。どのような障がい者や高齢者、児童であつても人格を尊重され、人として同じ権利を享受し、地域社会（在宅）で主体的な生活と社会参加が保障されるのが正常（ノーマル）な社会であるという思想に基づき、地域の人々の正常な生活を実現していく取り組みを意味する。今日的には地域福祉や共生の基本的思想である。

【は】

ファンドレイジング

ファンドレイジング（Fundraising）とは、民間非営利団体（NPO）が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称。主に民間非営利組織の資金集めについて使われる用語。社協では「自主財源の確保」に関連する事業に使われる。

福祉会

生活課題、福祉問題を抱える要援護者が生活する小地域を活動範囲とし、要援護者の福祉問題をその人だけの問題とせず、地域住民みんなの問題として捉え、その解決策を考えたり予防したりするために、地域住民が組織的に福祉活動を推進する住民の自主的な組織。現在一般には「福祉会」と呼ばれ、市内13コミュニティを活動範囲とする福祉会を「地区福祉会」、行政区を活動範囲とする福祉会を「小地域福祉会」という。